

# 平成29年度 昭和館図書室のレファレンス事例紹介

新城 敦

## はじめに

昭和館の図書室は、平成11年(1999)3月の開館以来、書名・著者編者名・出版社(発行所)の検索だけでなく、目次などからの「ことば検索」もできることを特色とし、利用者の利便性向上をはかっている。このほかに、図書室のカウンターや電話・FAX・メールなどでもレファレンスを受けており、開館から平成29年度までに約3,760件におよぶレファレンスに対応してきた。

レファレンスは利用者が読んだり見たりする図書、何らかの調べ(調査)学習での過程で図書室に問合せや相談があった事柄であり、その内容は戦中・戦後の日本の様子(状況)など多岐にわたる。問合せも、一般の利用者だけでなく、新聞社やテレビ局(番組制作会社)などのマスコミ関係、各自治体などから多数あり、平成29年度には館内外全体で180件余りのレファレンスに応じてきた。

開館以来のレファレンス全体をここで取り上げることはできないが、直近の平成29年度に寄せられたレファレンス内容と、昭和館(図書係)からの案内(対応)内容を紹介し、さらに新たな時代を迎えるにあたって、多くのレファレンスに対応できる図書資料の内容充実をはかる一助とすることを本稿のねらいとしたい。

## 凡 例

- I 質問者の属性が判明している場合は、回答欄上部の【 】に表記。
- II 調査および提供した資料が複数ある場合は、回答欄に①②③…の順で表記し、各資料の内容(該当ページや情報)は次行に記した。  
例：①『書名』著者(編者・監修者・撮影者等)、出版社(者)、出版年(西暦)  
p.10「…  
※1 紹介した資料以外に、簡単なレファレンス内容を示したものもある。  
※2 戦中・戦後の資料で、書誌情報(著者・出版社・出版年)が全て不明なものについては、例外として昭和館資料番号(数字9桁)を付した。
- III 質問の分類については大きく4つの分類とし、01が「戦中・戦後の暮らし」(01はテーマ列に11に区分)、02が「軍事」、03から08が「情報媒体等(書籍・地図・新聞・写真・カメラ・レコード)」、09から13が「特定の事柄(天皇・人物・交通・動物・その他)」とした。
- IV 回答に引用したインターネットアドレス(URL)の最終確認日は、平成31年1月末である。

## 01\_01 戦中・戦後のくらし一般 (20件)

質問	回答
<p>2017/6/3</p> <p>代用品は従来の製品に比べて性能が落ちると思うが、価格的にお手頃だったのか？ また、代用品の販売価格がわかる資料や価格の比較ができる資料を見たい。</p>	<p>※代用品の販売価格がまとまっている資料はなし。</p> <p>①『丸 第67巻第2号＝第814号(平成26年2月)』潮書房, 2014 「日本の民間『戦時代用品』カタログ」代用品に関する記述多数。</p> <p>②『昭和前期の家族問題』湯沢雅彦/著, ミネルヴァ書房, 2011 p. 251 「物資の不足と使えない代用品」</p> <p>③『内外調査資料 第11年 第1輯-第3輯』調査資料協会/著, 調査資料協会, 2002</p> <p>④『全国戦災史実調査 報告書 平成13年度』日本戦災遺族会/著, 日本戦災遺族会, 2001 代用品についての記述あり。</p> <p>⑤代用品の販売価格については、館内の「デジタル雑誌検索」でキーワード「代用品」でヒットした中の『大毎小学生新聞1088号』にて「代用品の手製スキーが材料代90銭、金具代35銭という費用の安いもの」という記述あり。</p>
<p>2017/6/28</p> <p>郵便手帳(郵便通帳)についての資料を知りたい。</p>	<p>「郵便手帳」「郵便通帳」どちらのこともばでも検索該当せず、「郵便貯金通帳」で該当あり。</p> <p>①『戦壘』都留中学校/著, 都留三十二戦壘会, 1993 p. 572 「動員時代の郵便貯金通帳」が収録。ただ白黒不鮮明かつ発行年度不明。</p> <p>②『南十字星に祈る』銃砲隊戦史刊行委員会/著, 近衛歩兵第三連隊第三大隊銃砲隊戦史刊行会, 1982 p. 519に 郵便貯金通帳があるが①と同じもの。郵政博物館のHPに「郵便貯金証書の移り変わり」というページがあり、郵政博物館を紹介。</p> <p>③「横浜開港150周年記念事業 みんなでつくる横濱アルバムー市民が記録した150年ー」 <a href="http://www.yokohama-album.jp/picture/detail/9613/">http://www.yokohama-album.jp/picture/detail/9613/</a> 昭和20年12月の軍事郵便貯金通帳の写真(片面)が出ている。</p>
<p>2017/7/7</p> <p>婦人会の会服について知りたい。婦人会服の現物(当時のものかどうかは不明)と、高島屋のチラン(愛国婦人会会服)の画像と『日本婦人』第1巻第1号のコピーを持参。</p>	<p>①『日本婦人 第1巻 第1号』大日本婦人会, 1942 「大日本婦人会会員制服の作り方(附・洋服用制服型紙の作り方)(大日本婦人会)」</p> <p>②『愛国婦人 第111号』愛国婦人会東京部, 1940 「古きれを染めて会服に(水野頌比古)」</p>
<p>2017/7/11</p> <p>【テレビ局】 終戦直前の昭和20年7月22日頃に、学徒勤労動員をしていたかどうか。また、日曜日も勤労していたかどうかを知りたい。高松あるいは全国的な状況を知りたい。昭和20年7月22日(日)に自宅と学校で機銃掃射を受けたという証言の裏をとりたい(日曜に学校に行くということがあるとすれば、それは学徒勤労動員なのではと推測、その確認をしたい。</p>	<p>①『ある中学生の戦中日記 阪神空襲実録』高瀬湊/著, 東方出版, 1991 「日曜日に働いていたこともあるし、土日に公休日であったこともある」の記述あり。</p> <p>②広島平和記念資料館 8月5日、最後の日記 <a href="https://www.google.com/culturalinstitute/beta/exhibit/8%E6%9C%885%E6%97%A5%E3%80%81%E6%9C%80%E5%BE%8C%E3%81%AE%E6%97%A5%E8%A8%98/ARWy3GEu?hl=ja">https://www.google.com/culturalinstitute/beta/exhibit/8%E6%9C%885%E6%97%A5%E3%80%81%E6%9C%80%E5%BE%8C%E3%81%AE%E6%97%A5%E8%A8%98/ARWy3GEu?hl=ja</a> 「日曜日には学校休み」の記述あり。</p> <p>③原爆被災と亀山 <a href="http://www.cf.city.hiroshima.jp/kameyama-k/machi/genbaku/genbaku1.html">http://www.cf.city.hiroshima.jp/kameyama-k/machi/genbaku/genbaku1.html</a> 「日曜日も休まず、勤労奉仕作業に出動した」の記述あり。</p> <p>④『高松空襲戦災誌』高松市/編, 高松市, 1983 p. 293, 520 「7/22の高松飛行場での空襲で、機銃掃射で勤労奉仕中の一般人が死傷した」</p> <p>⑤『高松の空襲』高松空襲を記録する会/編, 高松空襲を記録する会, 1973 p. 242 「林飛行場が機銃掃射を受け、勤労動員中の数名が死亡」</p> <p>⑥『香川県史 6』香川県/著, 香川県, 1988 p.769 「7/22に小田沖と高松飛行場に機銃掃射があった」</p>
<p>2017/8/4</p> <p>【中学2年生】 闇市について知りたい。</p>	<p>①『昭和 二万日の全記録 7』講談社/編, 講談社, 1989</p> <p>②『アメ横の戦後史』長田昭/著, KKベストセラーズ, 2006</p> <p>③『盛り場はヤミ市から生まれた』橋本健二/著, 青弓社, 2013</p> <p>④『東京戦後地図』藤木TDC/著, 実業之日本社, 2016</p> <p>⑤『ヤミ市幻のガイドブック』松平誠/著, 筑摩書房, 1995</p>
<p>2017/8/4</p> <p>【中学2年生】 1964年の東京オリンピックについて知りたい。</p>	<p>①『時代背景から考える日本の6つのオリンピック 1』大熊廣明/監, ベースボール・マガジン社, 2015</p> <p>②『オリンピック 栄光とその影に』昭和館/著, 昭和館, 2008</p> <p>③『東京オリンピックへの遙かな道』波多野勝/著, 草思社, 2004</p>

2017/8/11

下記の文章の出典が知りたい。なければほかの統計を参考にしたい。戦後の統計を見たい。  
『学制百年史』「終戦時における動員学徒数は340万人を超え、学徒動員による死傷者は2万人にも達したといわれている」『学制百年史』文部省/編、株式会社帝国地方行政学会、1972  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/others/detail/1317552.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/others/detail/1317552.htm)

学徒動員数については

①『太平洋戦争下の労働者状態』法政大学大原社会問題研究所/編、東洋経済新報社、1964

死傷者数については

②『東京都学徒労働者の研究』齊藤勉/著、のんぶる舎、1999  
動員学徒援護会によると18,823人

※『学制百年史』に「学徒動員による死傷者は2万人にも達した」との記述があるが、出典は不明

2017/8/12

【大学生】

戦後、雑誌の発行部数は制限されていたはずだが、それぞれの出版社に対する用紙割当などが知りたい。  
また、お菓子を販売するにあたって、砂糖・牛乳・水あめなどの使用が制限されていたと思うが、それぞれの使用許可や使用量などが知りたい。

①『戦後雑誌発掘』福島銈郎/著、洋泉社、1985 p. 587～

②『新聞出版用紙割当制度の概要とその業務実績 第2巻』金沢文圃閣、2004  
p. 192「雑誌用紙割当表」が掲載。

戦後の出版（雑誌）について

③『日本雑誌協会史 第2部』日本雑誌協会史第二部戦中・戦後期編集委員会/編、日本雑誌協会、1969

④『出版年鑑 昭和22年版・23年版』日本出版協同/編、文泉堂出版、1978

⑤『出版年鑑 1951年版』出版ニュース社/編、出版ニュース社、1951

「雑誌用紙割当申請書」書式が掲載。

砂糖・牛乳・水あめなどの使用制限について

⑥『現代日本産業発達史 18』現代日本産業発達史研究会、1967

戦後の製菓・製パン業界や砂糖・乳製品の管理などについての記述あり。

※雑誌記事・論文「菓子用砂糖の割当対策如何—中央・地方・業種別につき割当協議機関を設置せよ」『砂糖経済』16(3・4)、昭和25年(国立国会図書館蔵)もあわせて紹介。

2017/9/6

昭和の家の中の様子や生活風景がわかる資料を見たい。文字ではなく、写真を希望。特に、1950～60年代の高度経済成長期の様子を知りたい。

①『昭和の日本のすまい』西山卯三/撮影、創元社、2007

②『昭和のくらしがわかる事典』早川典子/監修、PHP研究所、2010

③『日本の生活100年の記録 1』佐藤能丸/監修、ポプラ社、2000

④『写真でみる日本生活図引 4』須藤功/編、弘文堂、1994

⑤『都市の中の民具』新宿区生涯学習財団新宿歴史博物館/編、新宿区教育委員会、1996

⑥『三丁目の夕日の時代 日本橋篇』小学館、2007

2017/9/21

【銀行】

昭和21年5月1日付の大蔵省発行「個人金融通帳」がどういふものか知りたい。

キーワード：預金封鎖

①『銀行百年史 下巻』新現論社出版局、1981

②『資料・金融緊急措置』大蔵省財政史室/編、霞出版社、1987

「個人金融通帳」の記述なし。

2017/9/24

「ぜいたくは敵だ」「進め一億火の玉だ」等の標語が書かれた、戦時中のポスターに関する資料が見たい。ポスターのデザインがわかるものがよい。

キーワード：ポスター 戦中

①『ポスターに見る戦中・戦後』昭和館/編、昭和館、2011

②『プロバガンダ・ポスターにみる日本の戦争』田島奈都子/著、勉誠出版、2016

③『ポスターに描かれた昭和 高橋春人の仕事』昭和館/編、昭和館、2017

④『世情を映す昭和のポスター』船木和明/編、メディアパル、2011

⑤『写真・ポスターから学ぶ戦争の百年』鳥飼行博/著、青弓社、2008

⑥『平和を伝える』東谷敏雄/監修、日本機関紙出版センター、1995

2017/10/5

【テレビ局】

昭和23年頃に子どもたちが道端に落ちている銅を拾っていたという事実があるが、拾っていたのが銅の塊だったのか銅線だったのかわかる資料はないか。図書資料に限らず、映像・写真資料でも可。

キーワード：銅 子ども 昭和 戦後 屑鉄拾 鉄くず 拾い

昭和23年頃に子供たちが拾って売っていた銅が、銅線と記述する資料が数点あり。ただし「朝鮮戦争の勃発に伴い銅が高く売れたため、子供たちの間に銅線拾いが広まった」とあるので、昭和23年頃の銅拾いが銅線だけではない可能もある。映像・写真でわかる資料はなし。

①『はらべこのうた』竹村健一/著、新風書房、1992

p. 55 「くず鉄あつめ」男の子がなべを持ち、「おいみてみーアカのなべや!!」と言っているイラストあり。

②『子どもの生活史』深谷昌志/著、黎明書房、1996

③『昭和十三年生まれ』河出書房新社編集部/編、河出書房新社、1978

p. 104 「銅(アカ)を売る」

④『山梨の昭和』朝日新聞社甲府支局/編、山梨ふるさと文庫、1989

⑤『近代子ども史年表』下川史史/編、河出書房新社、2002

p. 165 「社会」欄

2017/10/11

常設展示室で見たパン焼き器が載っている図録等はないか。

- ① 『昭和館常設陳列資料図録』昭和館/編, 昭和館, 1999  
ジュラルミン製の鍋型が掲載
- ② 『パンと昭和』小泉和子/編, 河出書房新社, 2017  
ジュラルミン製の鍋型、箱型の電気パン焼き器が掲載

2017/12/9

【福岡県在住】

日本に進駐軍が入ってきたとき、土地を接収されたが、それについての資料はアメリカにあるのだろうか。

国立国会図書館の憲政資料室に日本占領関係資料として、おもに第2次世界大戦終了後の日本占領に関するアメリカの公文書などをマイクロフィルムで収集したものがある。

2017/12/13

国民服の入手方法について、店頭で購入したのか、配給されていたのかわかる資料はないか。

キーワード：国民服

- ① 『アジア・太平洋戦争辞典』吉田裕/編, 吉川弘文館, 2015
- ② 『洋服と日本人』井上雅人/著, 廣済堂出版, 2001  
国民服の作り方、普及状況、古着を利用して手作りしたとの記述はあるが、その他の入手方法については見当たらず。
- ③ 『東京紳士服の歩み』小田喜代治/著, 東京紳士服工業組合, 1985  
p. 328, 329 「国民服の制定」
- ④ 『戦時の装い』埼玉県平和資料館/編, 埼玉県平和資料館, 2006  
p. 26, 27 「普段着の真実」
- ⑤ 『全国戦災史実調査報告書 平成17年度』日本戦災遺族会/編, 2006  
p. 65 「IV 戦時下の市民生活の実態 (1) 衣・食・住の状況」
- ⑥ 『間違いだらけの少年H』山中恒/著, 辺境社, 1999  
p. 135~140 「『国民服』制定に協力」

2017/12/17

【外国人】

広島の後復興について調べている。「復興顧問」という制度があり、アメリカやオーストラリアから人が派遣されていた。そのことについて参考になる資料はないか。広島市史・広島新史など、広島市が出版している歴史の基本資料は調査済だが、広島市以外の一般の出版社が出しているものがあれば見たい。

『広島市公文書館紀要第28号《研究ノート》占領軍を中心とする広島市復興顧問と復興計画への一考察』

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1371368273682/simple/fukkoukomon.pdf> を紹介。

- ① 『GHQ日本占領史』天川晃ほか/編, 日本図書センター, 2000  
総索引で「復興顧問」「ジャビー(S.A.ジャビー)」「モンゴメリ(J.D.モンゴメリ)」を調べるがいずれも記述なし。
- ② 『読売新聞記事検索』→「復興顧問」で検索するがヒットせず。
- ③ CiNii Articles (国立情報学研究所 論文検索)  
「復興顧問」検索→3件該当。
- ④ 国立国会図書館デジタルコレクション  
「復興顧問」検索→4件該当。論文3件は広島公文書館長の中川國利著。
- ⑤ 『戦後史大事典』佐々木毅ほか/編, 三省堂, 1995
- ⑥ 『マッカーサーの日本』『週刊新潮』編集部/著, 新潮社, 1970
- ⑦ 『広島県戦災史』広島県/編, 広島県, 1988
- ⑧ 『ヒロシマ戦後史』宇吹暁/著, 岩波書店, 2014
- ⑨ 『原爆三十年』広島県/編, 広島県, 1976
- ⑩ 『GHQ』竹前栄治/著, 岩波書店, 1983
- ⑪ 『日本占領軍 別冊』思想の科学研究会/編, 現代史出版会, 1978

2017/12/22

昭和20年前後の結婚式の衣裳が載っている本はないか。母が生前美容師をしており、当時の花嫁の姿を再現した絵を描きたいと考えている。時代は多少前後しても構わない(文化服装学院に行ったが、適当な資料が見当たらなかった)。

キーワード：結婚 昭和 花嫁 衣裳

- ① 『昭和の結婚』小泉和子/編, 河出書房新社, 2014
- ② 『婦人倶楽部 第14巻第1号附録(昭和8年1月 花嫁花婿必要帖)』大日本雄弁会講談社, 1933
- ③ 『主婦之友 第21巻第1号附録(昭和12年1月) 花嫁さん全集』主婦之友社, 1937

2018/1/17

「長屋(住宅)」に関する資料はないか。外観や間取りがわかるもので、小学生にもわかるものがよい。時代は江戸時代でも昭和でも構わない。

- ① 『昭和の日本のすまい』西山卯三/撮影, 創元社, 2007
- ② 『図録・都市生活史事典』原田伴彦ほか/編, 柏書房, 1991  
江戸時代の長屋の間取りあり
- ③ 『間取り百年』吉田桂二/著, 彰国社, 2004  
昭和元~20年頃の北区にあった長屋住宅の間取りあり
- ④ 『昭和住宅』辻泰岳/著, エクスナレッジ, 2014
- ⑤ 『東京慕情』田中哲男/著, 東京新聞出版局, 2008
- ⑥ 『日本の生活道具百科 2』中林啓治/著, 河出書房新社, 1998

2018/3/21

剣道や武道が禁止されたことについての資料はあるか。

キーワード：武道 禁止

- ① 『米国対日占領政策と武道教育』 山本礼子/著, 日本図書センター, 2003
- ② 『最新スポーツ大事典』 岸野雄三ほか/編, 大修館書店, 1987
- ③ 『剣道百年』 庄子宗光/著, 時事通信社, 1976

2018/3/31

たばこの(外箱)のデザインについて知りたい。一覧が見られるような資料はあるか。また、たばこ関連の業界団体で、問い合わせられそうな団体等はあるか。

キーワード：たばこ デザイン

- ① 『日本のたばこデザイン 1904-1972』 専売事業協会, 1972
  - ② 『記念・観光たばこデザイン 第1集』 日本専売公社/監修, 専売事業協会, 1972
  - ③ 『記念・観光たばこデザイン 第2集』 日本専売公社/監修, 専売事業協会, 1972
  - ④ 『記念・観光たばこデザイン 第3集』 日本専売公社/監修, 専売事業協会, 1975
- たばこ関連の専門施設として、「たばこと塩の博物館」を紹介。

## 01\_02配給 (9件)

### 質問

2017/6/28

【映画会社】

昭和20年の家庭用米穀通帳は緑色のラインの入った縦長のもので合っているか。  
※樺太のもので昭和20年か(戦前)のもの外見を知りたい、サイズとか色、裏表など。札幌でもよい。もしくはその他地域でもよい。

キーワード：米穀通帳

該当12件。

昭和館HP内の右上の窓に「米穀通帳」と検索すると、画像がヒットする。

- ① 『戦争とくらしの事典』 戦争とくらしの事典編集部/編, ポプラ社, 2008  
p. 146 「米穀通帳」
- ② 『平和への伝言』 藤原彰/監修, あけび書房, 1995  
昭和20年2月の家庭用飯米通帳あり。  
樺太および札幌での「家庭用米穀通帳」の詳細は不明。

2017/6/2

【博物館】

「家庭用砂糖購入票」について。昭和18年のものが2枚あるが、1枚には「家族5人で300匁」、もう1枚には「家族3人で300匁」と記載されている。1枚目の記述に従うと、1人あたり60匁の計算になるが、2枚目の記述とは計算が合わなくなる。この基準の違いはなぜか。

昭和館所蔵の資料は昭和16、17年のもので、参考として以下の3点を紹介。

- ① 『現行切符制度解説』 東京市/編, 東京市, 1942  
p.24 「三、個々の切符制度に就いて」→「3. 砂糖、マッチ、小麦粉、食用油、菓子」の切符制度(集成切符)→「集成切符の沿革」都立中央図書館所蔵あり。
- ② 『東京市切符制沿革史』 東京市, 1943  
p. 92 「家庭用の特配」特配月、割当の内訳記載あり。  
【同書の全文翻刻掲載】
- ③ 『都史資料集成 第11巻』 東京都公文書館/編, 東京都公文書館, 2012  
p. 831に掲載。愛媛県立図書館所蔵あり。
- ④ 『砂糖配給統制の現状』 山下久四郎/著, 日本砂糖協会, 1941  
p. 79「三、道府県別の割当」各月配給量、1人あたり量の記載あり。国立国会図書館所蔵あり。

2017/6/3

配給制度について昭和15年6月から切符制が実施された「六大都市」とは、それぞれ市単位だったのか。例えば東京とあるのは東京市で、武蔵野や多摩地域などは除外されていたのか。米以外の切符制や登録制は、六大都市以外にも全国的に導入されたのか。  
※「六大都市」とは、どこまでの地域を意味するのか？  
※配給制度が全国統一で実施されたか、地域差があったのかについての資料が欲しい。

昭和15年6月時点での法律上の「六大都市」とは、東京市・大阪市・名古屋市・京都市・神戸市・横浜市の6都市を指す。そのため、東京府下の東京市以外の地域は法律上、六大都市に含まれず。(昭和18年6月に東京都制が施行されたことにより、東京市が廃止され、「六大都市」となる)東京市以外の東京府下地域の配給制度の開始時期についての詳細を確認できず。次の資料を参照。

- ① 総務省HP「(参考) 大都市に関する制度の沿革」  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000079232.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000079232.pdf)
- ② 国立国会図書館デジタルライブラリー  
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2955170/1>  
「六大都市行政監督ニ関スル件(大正11年10月2日勅令第424号)」
- ③ 『都史資料集成 第11巻』 東京都公文書館/編, 東京都公文書館, 2012  
米以外の切符制や登録制は、六大都市以外にも全国的に導入されていたと考えられるが、導入の時期等は地域差があったと推測される。
- ④ 『太平洋戦争下の労働者状態』 法政大学大原社会問題研究所/編, 東洋経済新報社, 1964  
p. 118 「第五編 物価・配給統制と労働者の生活」
- ⑤ 『滋賀大学学術情報リポジトリ「生活必需品切符制度の研究(芳谷有道) 彦根高商論叢, 27」』  
[https://shiga-u.repo.nii.ac.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_snippet&meta=%E7%94%9F%E6%B4%BB%E5%BF%85%E9%9C%80%E5%93%81%E5%88%87%E7%AC%A6%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6%20%E8%8A%B3%E8%B0%B7%E6%9C%89%E9%81%93&count=20&order=16&pn=1&st=1&page\\_id=13&block\\_id=21](https://shiga-u.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&meta=%E7%94%9F%E6%B4%BB%E5%BF%85%E9%9C%80%E5%93%81%E5%88%87%E7%AC%A6%E5%88%B6%E5%BA%A6%E3%81%AE%E7%A0%94%E7%A9%B6%20%E8%8A%B3%E8%B0%B7%E6%9C%89%E9%81%93&count=20&order=16&pn=1&st=1&page_id=13&block_id=21)
- ⑥ 「デジタル八雲町史 第14編 住民生活 第3節 昭和初期と戦時下の生活」  
<http://www2.town.yakumo.hokkaido.jp/history/ep14.htm>

	<p>⑦ Web版『図説尼崎の歴史 近代編第4節 十五年戦争下の尼崎7 国民総動員の時代一戦時下の地域とくらしー 配給制度の実施』  <a href="http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/chronicles/visual/04kindai/kindai4-7.html">http://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/chronicles/visual/04kindai/kindai4-7.html</a>)</p> <p>⑧ 国税庁HP『租税史料叢書 第五巻 酒税関係史料集Ⅱ～大正時代から昭和終戦直後～』  <a href="https://www.nta.go.jp/about/organization/ntc/sozei/05.htm">https://www.nta.go.jp/about/organization/ntc/sozei/05.htm</a> 「四 酒類の統制」</p>
--	--

2017/6/3	
<p>配給物資はどのような基準で支給物や数量が決定されていたのかを知りたい。          ※配給制の研究の概説書を紹介して欲しい。</p>	<p>配給制について</p> <p>①『都史資料集成 第11巻』東京都公文書館/編, 東京都公文書館, 2012 p. 829</p> <p>②『東京市切符制沿革史』東京市, 1943          p. 835下段「一人あたり割当量を決定しこれに基づき世帯人員を段階式に分類し世帯割当量を決定配給す」と記述あり。p. 862「一覧表」にそれぞれの品目の割当量が載っている。</p> <p>③『太平洋戦争下の労働者状態』法政大学大原社会問題研究所/編, 東洋経済新報社, 1964          p. 141「その食生活を…勘定して適当な基準量を定める」との記述あり。          そのほか「第 5編 物価・配給統制と労働者の生活」の項目に記述あり。          p. 148「第三節 栄養摂取量の推移」</p> <p>④『長野県食糧配給公団誌』長野県食料配給公団誌刊行会/編, 長野県食料配給公団誌刊行会, 1952          p. 118「消費基準量決定方針に関する件抜粋」</p> <p>⑤『全国戦災史実調査報告書 平成13年度』日本戦災遺族会/著, 日本戦災遺族会, 2001</p> <p>⑥『隣組配給の知識』井関純/著, 同文館出版部, 1943</p> <p>⑦『生活必需品配給機構整備要綱』高橋幸司/著, 商業組合中央會出版部, 1941</p> <p>⑧『衣料切符制の話』近藤止文/著, 高山書院, 1942</p>

2017/6/28	
<p>「衣料切符」について関連図書を調べたい。</p>	<p>キーワード：衣料切符</p> <p>7点該当。昭和17～19年頃の東京の資料が中心。</p> <p>①『商工政策史 第16巻 繊維工業(下)』通商産業省/編, 商工政策史官行会, 1972</p> <p>②『戦争とくらしの事典』戦争とくらしの事典編纂室/編, ポプラ社, 2008          p. 10「戦中の衣料切符」の裏表写真あり。</p> <p>③『写真でみる 太平洋戦争とくらし・道具事典』ワンステップ/編, 金の星社, 2016          p. 39「配給制」(衣料切符2種の写真あり)</p> <p>④『平和への伝言 復刻版 戦争実物資料』藤原彰/監修, あけび書房, 1995          「衣料品切符」</p> <p>⑤『衣料切符制の話』近藤止文/著, 高山書院, 1942          p. 47「二、衣料切符の種類と様式」(甲種・乙種の見本も付いているが、紙の変色が激しく不鮮明)</p> <p>⑥『新しい衣服生活』上田柳子/著, 皇國青年教育協會, 1942          p. 20「衣料切符の種類」</p> <p>⑦『週報 第382号』内閣印刷局, 1944          p. 21「今年の衣料切符」(昭和19年の状況)</p>

2017/7/8	
<p>戦中から戦後にかけての衣食に関する配給について調べたい(特に戦後)。</p>	<p>①『GHQ日本占領史 第35巻、36巻』天川晃ほか/編, 日本図書センター, 2000</p> <p>②『食糧配給公団史料 地方支局之部』食糧配給公団/編, 食糧配給公団, 1951</p> <p>③『食糧配給公団史料 総括之部』食糧配給公団/編, 食糧配給公団, 1951</p> <p>④『食糧配給公団史料 追録』食糧配給公団/編, 食糧配給公団, 1952</p> <p>⑤『衣料品の配給制度』商工省繊維局/編, 全国繊維製品協議會, 1948</p>

2017/7/19	
<p>昭和14年の米穀搗精等制限令と農林省令により配給米は七分搗米に制度化されたとのことだが、戦後(昭和22年)の配給米の精米比率はどの程度だったのか。</p>	<p>『GHQ日本占領史 第35巻』天川晃ほか/編, 日本図書センター, 2000          p. 29「表9 穀物の精白歩留率」が掲載。米は昭和22年7月1日時点で96%とある。</p>

2017/4/28	
<p>戦時中の事柄について、例えば配給はいつ頃から始めて、どんな品物が配給になったか、あるいは女の人たちがもんぺをいつ頃から着だしたのか等がわかる年表とか、流れをまとめたものとかはないか。</p>	<p>①『昭和 二万日の全記録』講談社/編, 講談社, 1989</p> <p>②『昭和・平成家庭史年表』下川歌史/編, 河出書房新社, 1997</p>

2017/7/19

配給された精米以外の小麦、食パン、甘藷などの量は米に換算されていたようだが、米のカロリー量で換算されていたのか。

- ①『主要食糧総合配給に関する参考資料』中央食糧営団、1946  
p. 40「六、主要食糧の代替換算率」に「総合配給は米に対して他の代替食糧の米相当量を以て配給する建前である」とあり、重量で換算されていたことが確認できる。
- ②『食糧管理統計年報 昭和23年度版』食糧管理局/編、食糧管理局、1949  
p. 236「I 換算表 (4) 米穀に関する換算表」に基準単位が「石」「貫」「ポンド」などであることから、重量によって換算していたものと推測される。

## 01\_03食べ物 (3件)

### 質問

2017/11/10

戦時中の国民の食生活について調べている。どのようなものを食べていたか、献立やメニューなどを幅広く調べたい。

### 回答

キーワード：戦時 食生活 食事 献立 代用食 決戦食

- ①『戦時栄養問答』桑原丙午生/著、長尾出版報国会、1944  
②『戦時家庭経済料理』日本女子大専攻家政学部/編、櫻楓舎出版部、1938  
③『實用決戦食生活』小林完/著、泉書房、1944  
④『決戦食生活工夫集』神奈川県食糧営団/編、産業経済新聞社、1944  
⑤『戦下のレシピ』斎藤美奈子/著、岩波書店、2002  
⑥『台所に敗戦はなかった』魚柄仁之助/著、青弓社、2015

2017/5/18

【テレビ局】

番組で「日本の洋食」を取りあげる。『近代日本文化年表』の昭和43年の項目に「子供の人気メニュー1位が卵焼きからハンバーグにかわった」という記事があったが、その裏付け資料はあるのか。

- ①『昭和・平成家庭史年表』下川歌史/編、河出書房新社、1997

- ②『近代日本食文化年表』小菅桂子/著、雄山閣出版、1997

- ③『近代子ども史年表』下川歌史/編、河出書房新社、2002

などに同様の記述がみられるものの、個別の記事に対する出典なし。

「ハンバーグ」「食肉 加工」「給食」などで検索するも該当の記述のある資料見つからず、日本ハンバーグ協会、「食とくらしの小さな博物館(味の素株式会社)」を紹介。

2017/12/6

昭和39年頃の朝ごはんは何を食べていたのか知りたい。

キーワード：朝ごはん

- ①『聞き書ふるさと家庭料理 第18巻』農山漁村文化協会/編、農山漁村文化協会、2003

- ②『母から娘へ伝える昭和のレシピ』松原惇子/著、リヨン社、2006

- ③『昔の子どものくらし事典』本間昇/監修、岩崎書店、2006

- ④『ちゃぶ台の昭和』小泉和子/著、河出書房新社、2002

p. 60 朝食に関する記述あり。

## 01\_04子供 (8件)

### 質問

2017/7/9

板橋区内の小学校の疎開状況について、わかる資料はないか。探している学校は「第六国民学校」

### 回答

キーワード：板橋 疎開

正式な学校名は「板橋第六国民学校」であることが判明。

- ①『学童疎開 古家ホテル記念帳』板橋区教育委員会生涯学習課/編、板橋区教育委員会、2002

- ②『板橋の平和』板橋区立郷土資料館/編、板橋区立郷土資料館、1995

- ③『企画展 板橋の平和』板橋区立郷土資料館/編、板橋区立郷土資料館、2005

- ④『板橋区立郷土資料館資料集 第1集 板橋の学童疎開』板橋区立郷土資料館/編、板橋区立郷土資料館、1997

- ⑤『戦争知ってますか』板橋大運動実行委員会/編、日本教育出版サービス、1981

板橋区立郷土資料館が発行している企画展のパンフレットや資料集が多く、同館への問い合わせを案内。

2017/4/14

1960～70年代の子供部屋の写真が載っている資料はないか。

昭和館の収集年代が昭和10年～30年頃までとなっているため、ご希望の1960年(昭和35)～70年(昭和45)代の資料は少ないことを伝える。

キーワード：昭和 子ども部屋

『ホーム・ライフ 複製版 第10巻 1938年(昭和13)5月～8月』柏書房、2008

「こども部屋を中心に」に子供部屋の写真があるが、該当の年代ではなかった。

その他、昭和時代・民俗関係の資料を見るが写真資料は見当たらず。類似施設の「昭和のくらし博物館(東京都大田区)」や「江戸東京博物館(東京都墨田区)」、「昭和日常博物館(愛知県北名古屋市)」を案内。

2017/4/14

【福岡県在住】  
昔読んだ「手の中のボタン」というタイトルの話が収録されている書籍を知りたい。

キーワード：手の中のボタン  
『ヒロシマの雨はドームの涙 PART3』国際平和教育研究会/編，教育出版センター，1975  
内容確認し、収録されていることを確認したので、書誌情報を案内。あわせて福岡県立図書館にも所蔵していることを案内。

2017/5/12

昭和館HPの図書検索を見て、『少年少女譚海』について探している。  
1. 『少年少女譚海』第5巻第6号（昭和28年7月）は夏季特別号のことか。  
2. 『少年少女譚海』昭和27年2月～9月刊行の中で江戸川乱歩の犯人探し大懸賞が載っている号はあるか。HP目次で犯人探し大懸賞と掲載されているが、それが江戸川乱歩かどうかわからなかった。

『少年少女譚海』文京出版，1953  
1. 蔵書の現物を確認。表紙に「夏季特別号」との表記がある。  
2. 昭和27年8月、昭和27年9月刊行の裏表紙に掲載あり。  
ただし、号数表記や目次ページ数など、『少年少女譚海』は現物に誤りが多く見受けられるため、ご自身で現物を確認していただくのが一番確実と案内。

2017/8/15

学童疎開にお金が必要だったと聞いたが、詳細を知りたい。またどのようなモノを準備しなければならなかったかを知りたい。

『荒川区教育史 資料編2』荒川区教育委員会/著，荒川区教育委員会，1994  
p. 311～312 「携帯品について」  
p. 320～321 「食費について」

2017/10/6

国策において童謡が戦意高揚に利用されたことはあったのか。

『ボクラ少国民と戦争応援歌』山中恒/著，音楽之友社，1985  
p. 151 日本少国民文化協会の記述あり。この協会は児童文化を当時の体制に見合ったものにするように情報局や大政翼賛会によって創立された組織であることがわかる。  
また、外部論文では「戦時下における子どもの歌—少国民文化と音楽」が詳しい。  
[http://ci.nii.ac.jp/els/contentscinii\\_20171006131651.pdf?id=ART0010341975](http://ci.nii.ac.jp/els/contentscinii_20171006131651.pdf?id=ART0010341975)

2017/10/7

児童書および教科書の検閲について書かれている資料を探している。戦中・戦後どちらでも良いが、検閲の基準や内容がわかる資料がよい。

キーワード：児童書 教科書 検閲 国定教科書 戦時下 戦後  
① 『占領下の児童書検閲 資料編』谷暎子/著，新読書社，2004  
② 『占領下の教育改革と検閲』高橋史朗/著，日本教育新聞社，1987  
③ 『占領下の児童出版物とGHQの検閲』谷暎子/著，共同文化社，2016

2018/2/20

横浜の学童疎開について。手記や疎開先一覧を調べることはできるか。

① 『昭和のくらし研究 第15号（平成29年3月）』昭和館，2017  
「昭和館所蔵 学童疎開関係資料（手記・体験談）目録（二）—東京以外—」  
② 『横浜市の学童疎開』横浜市教育委員会「横浜市の学童疎開」刊行委員会，1996

## 01\_05空襲（3件）

### 質 問

2017/4/14

【博物館】  
松江市内の民家から添付画像の焼夷弾（爆弾？）が出てきた。可能であればこれがどのようなものであるか知りたい（現在の当主は全く伝来を知らない）。大きさは一升瓶より一回り小さい。先端部分は穴が開いており、ここの部分だけ重い。胴体、尾部は薄い金属でできており、非常に軽く、胴体部分は空洞になっている。形状としては、焼夷弾に酷似していると思うが、非常に小型。また、松江では焼夷弾による空襲の記録はなく、機銃掃射やロケット弾による空襲があったという記録はある。

### 回 答

焼夷弾や爆弾の構造について図解をしている資料を中心に紹介。  
① 『焼夷弾』（昭和館資料番号 000042998）  
② 『爆弾・焼夷弾・瓦斯弾』浄法寺朝美/著，朝日新聞社，1943  
③ 『ワイルドウェポン』立花正照/著，リイド社，1983  
④ 『空襲』片岡稔/著，ダイヤモンド社，1937  
⑤ 『戦略・東京大空爆』カー，E.パートレット/著，光人社，1994  
インターネットで閲覧できる国立国会図書館デジタルコレクションでも見られる資料の中に、焼夷弾・爆弾の構造が記されている資料が多数みられることを案内。

2018/2/12

香川県と愛媛県の空襲について知りたい。

キーワード：愛媛 松山 香川 高松 空襲 戦災  
・香川、愛媛共通  
① 『日本の空襲7』日本の空襲編集委員会/編，三省堂，1980  
② 『ビジュアルブック 語り伝える空襲 第4巻』安斎育郎/監修，新日本出版社，2008  
・香川県の空襲について  
③ 『たかまつ7月4日』創価学会青年部反戦出版委員会/編，第三文明社，1975  
④ 『高松の空襲 手記・資料編』高松空襲を記録する会，1978

2018/2/20

空襲警報と警戒警報の解除を知らせるサイレンについて。1分間鳴らさなければならぬ。のちに時間が3分に変更になったらしいが(ネット情報)、それは正しいのか。またいつ頃変更になったのか。その音源は存在するのか。

- ⑤『戦争体験記 土庄町』土庄町戦争体験記策定委員会/編, 香川県土庄町, 2015
- ・愛媛県の空襲について
- ⑥『慟哭の伊予灘』創価学会青年部反戦出版委員会/編, 第三文明社, 1976
- ⑦『米軍資料から読み解く愛媛の空襲』今治明德高等学校矢田分校平和学習実行委員会/編, 創風社出版, 2005

2017/4/16

昭和21～22年頃に農地改革が行われたと思うが、新潟県中蒲原郡小須戸町に関して、1反(300坪)の土地を地主から小作にいくらかで下げられたのかわかる資料はないか。

- ①『隣組防空指針』大阪市, 1941
- 空襲警報、空襲警報解除の信号方法の掲載あり。それによると空襲警報解除はサイレンを「一分間吹鳴」とのこと。
- ②『史料週報 第28巻 353号 昭和18年7月21日号』内閣印刷局, 1943
- 「附表第一 警報伝達一覧表」が掲載、空襲警報解除はサイレンの「3分間連続吹鳴」の記述あり。
- ③『時局防空必携 昭和18年改訂』内務省/著, 大日本防空協会, 1943
- 同様の一覧表あり。
- ④『国民防衛の書』上坂倉次/著, ダイアモンド社, 1941
- ⑤『国民防空の知識』國枝金市ほか/著, 大日本出版, 1941
- ⑥『図解防空指導室』毎日新聞社/著, 毎日新聞社, 1944
- 音源の所蔵なし。

01\_06農地改革 (1件)

質問

回答

2017/4/12

嵯峨浩(愛新覚羅浩)が満州に嫁ぐ前の写真がほしい(幼少期のものではなく、ある程度大人になってからの、昭和10年頃のもの)。国立国会図書館には問い合わせ済みで、該当資料はなかった。

- キーワード：新潟県 農地改革
- ①『新潟県農地改革史 改革顛末』新潟県/編, 新潟県農地改革史刊行会, 1963
  - p. 424「第四章 農地調整 第五節 農地価格の統制及びその推移 一、価格統制の経過 (二) 農地改革における統制」に「平均田反二二〇円」との記述あり。同頁の「4・95表の1県平均改正前後反当価格比較」にも改正後の田の価格として「220円」の記述あり。
  - ②『昭和経済史 中』安藤良雄ほか/編, 日本経済新聞社, 1994
  - 「第三編 農地改革 二次改革での目的完遂」に「地主には三ヘクタール未満の土地について、田二百二十円、畑百三十円の報奨金が加算された」との記述あり。
  - ③『農村の生活』河合悦三/著, 岩波書店, 1952
  - p. 49「農地価格は……反二百二十圓、……を地主に交付する」との記述あり。
  - その他調査資料
  - ④『新潟県史 通史編9』新潟県/編, 新潟県, 1988
  - ⑤『新潟県史 資料編20 現代一』新潟県/編, 新潟県, 1982
  - ⑥『新潟県史 資料編21 現代二』新潟県/編, 新潟県, 1985

01\_07満州 (2件)

質問

回答

2017/11/29

満州移民について。平成27年度の中学校社会科教科書『学び舎』p. 231(コピーを持参)に、満州移民にあたっては、関東軍が土地を買い上げて入植できるようになっていた、現地農民から買い上げ、あるいは取り上げたという記述がある。取り上げたというのは、事実とは思えないが、教科書に書いてある以上、何か根拠があるのだと思う。

- キーワード：嵯峨浩 愛新覚羅浩
- 『愛新覚羅浩の生涯』渡辺みどり/著, 読売新聞社, 1992
- 掲載のお見合い写真を案内。あわせて国立公文書館、昭和天皇記念館を紹介。

- 1. 日本政府が満州の土地をどのように入手したのか知りたい。
- 2. そもそも現地農民はその土地を正規の形で入手したのかも疑問で、満州国の人たちは農業をやらない人たちなので、清王朝末期に漢人が勝手に荒地を耕して自分のものにしてたということはないのかとも思っている。

- 1. について
- ①『満洲国史 総論』満蒙同胞援護会, 1970
- p. 13「満蒙の開墾」→満州国で開墾・農業が行われていた。
- p. 67「日本の手による満洲開発」→日本がポーツマス条約で取得した面積。
- p. 423「第四章 試験移民と土地問題」→土地の入手について、価格や住民感情。
- ②『図説満洲帝国』太平洋戦争研究会/著, 河出書房新社, 1996
- p. 102「いかにして土地を奪ったか 一満州移民一」
- ③『二〇世紀満洲歴史事典』貴志俊彦ほか/編, 吉川弘文館, 2012
- p. 375「土龍山事件」の参考文献として掲載されている、小都晶子「満洲国初期における日本人移住用地の取得と中国東北地域社会「三江省」樺川県を事例として」(西村成雄・田中仁編『中華民国の制度変容と東アジア地域秩序』所収、汲古書院、2008)を紹介。昭和館に所蔵なし、愛知大学豊橋図書館は所蔵しており、案内した。
- 2. について
- 中国国内のことであり、昭和館の資料では調べることは難しいと案内。

## 01\_08引揚げ (2件)

質 問	回 答
<p>2017/7/20</p> <p>敗戦後、釜山から日本への引揚げが行われていたが、そのときの釜山港の様子が写っている写真はないか。90歳になる知人が当時体験したことを記録として残すために資料を作成しており、参考になる写真を探している。</p> <p>また、資料に掲載するときの著作権の対応はどうしたらよいか。</p>	<p>①『引揚援護の記録』引揚援護庁/編, 引揚援護庁, 1950 巻頭に写真あり。</p> <p>②『故郷へ』明田川融/訳, 現代史料出版, 2005 p. 115～123に写真あり。</p> <p>③『敗戦国ニッポンの記録 上巻』半藤一利/著, アーカイブス出版, 2007 p. 51に写真あり。</p> <p>著作権に関しては、出版社で確認するよう伝える。『引揚援護の記録』は、引揚援護局の刊行であるため、厚生労働省に確認するよう案内。</p>
<p>2017/10/25</p> <p>樺太からの引揚げ者数を知りたい。</p>	<p>①『戦後引揚げの記録』若槻泰雄/著, 時事通信社, 1995 p. 369</p> <p>②『引揚げと援護三十年の歩み』厚生省援護局/編, 厚生省, 1977 p. 689～690に統計表あり。項目としては「千島・樺太」なので、樺太だけではなく、総数が掲載されている。</p> <p>③『樺太終戦史』樺太終戦史刊行会/編, 全国樺太連盟, 1973 p. 596～597に昭和24年時点の樺太引揚げ者数が掲載されている。平和祈念展示資料館をあわせて紹介。</p>

## 01\_09遺族 (2件)

質 問	回 答
<p>2017/4/6</p> <p>6階常設展示室の「遺族の生活」コーナーにあった、遺族の収入と支出、男女別給与の資料のコピーが取りたい。</p>	<p>6階常設展示室で展示されているパネルであることを確認し、出典資料を紹介。「遺族家庭の収入状況と支出」の表。</p> <p>①『日本婦人問題資料集成 第6巻』ドメス出版, 1978 p. 519の表が該当。</p> <p>②『日本統計年鑑 第5回 (昭和28年)』総理府統計局/編, 日本統計協会, 1954 p. 320「男女別現金給与」で点数該当。</p>
<p>2017/6/20</p> <p>【自治体】 「遺族の家」表札の配布元が知りたい。市民より、以前「遺族の家」という表札が家にあったが紛失してしまった。再度手に入れたい。配布元はどこかという問い合わせがあった。</p>	<p>「遺族の家」「誉の家」「靖国の家」などで検索するが、記載のある資料が見つからず、他施設を紹介した。</p> <p>立命館大学国際平和ミュージアム(実物資料所蔵)、地元の遺族会への問い合わせを提案。</p>

## 01\_10特別企画展・展示関連 (4件)

質 問	回 答
<p>2017/4/4</p> <p>平成28年に4階図書室で見た大橋鎮子の展示資料にあった花森安治さんのことばを探している。</p>	<p>平成28年4月に特別企画展関連で展示した資料を全点提供。</p> <p>①『暮しの手帖 第4世紀 第82号=460号 (平成28年5月)』暮しの手帖社, 2016</p> <p>②『スタイルブック 1946夏 復刻版』暮しの手帖社, 2016</p> <p>③『暮しの手帖 第459号 (平成28年3月) 臨時増刊号』暮しの手帖社, 2016</p> <p>④『大橋鎮子』三才ブックス, 2016</p> <p>⑤『大橋鎮子と花森安治『暮しの手帖』二人三脚物語』塩澤実信/著, 北辰堂出版, 2016</p> <p>⑥『「暮しの手帖」とわたし』大橋鎮子/著, 暮しの手帖社, 2010</p> <p>⑦『戦争中の暮しの記録』暮しの手帖社/編, 暮しの手帖社, 1980</p> <p>⑧『暮しの手帖 第1号 (昭和23年9月)』暮しの手帖社, 1948</p> <p>⑨『暮しの手帖 [第1期] 第6号 (昭和24年12月)』暮しの手帖社, 1949</p> <p>⑩『暮しの手帖 [第1期] 第7号 (昭和25年4月)』暮しの手帖社, 1950</p> <p>⑪『暮しの手帖 [第1期] 第8号 (昭和25年7月)』暮しの手帖社, 1950</p> <p>⑫『暮しの手帖 [第1期] 第36号 (昭和31年9月)』暮しの手帖社, 1956</p> <p>⑬『暮しの手帖 [第1期] 第37号 (昭和31年12月)』暮しの手帖社, 1956</p> <p>⑭『暮しの手帖 [第1期] 第38号 (昭和32年2月)』暮しの手帖社, 1957</p>

2018/1/14

1. モンペについて、概説的な記述のある資料はないか。特にモンペの歴史、各地にある野良着・作業着→山袴→「もんべい」→国によって標準化されていく過程がわかるようなものがあるとよい。  
2. 着物(和服)を更生してモンペを作る際は、上下セットでつなぎのような形状になるのか。下部分だけをモンペにする場合は、上の部分はどうなるのか。

1. モンペについての概説的な記述  
①『洋服と日本人』井上雅人/著、廣済堂出版、2001  
②『服装の歴史 3～5』村上信彦/著、理論社、1956～1975  
③『戦争と女性雑誌』近代女性文化史研究会/著、ドメス出版、2001  
p. 255 「たかがモンペ、されどモンペ-戦時下服装の一考察」(村上雍子)  
④『こうして女性は強くなった』読売新聞生活部/編、中央公論新社、2014  
p. 40 「モンペ「科学的に」推奨」  
2. モンペの作り方  
⑤『もんべ軽装帯の研究』京都女子高等専門学校技藝科三年・二年、1940  
p. 9 「婦人作業服」(つなぎ型作業服の作成図案)  
⑥『野良着』福井貞子/著  
p. 20、p. 55、p. 181

2018/3/9

特別企画展会場に足踏みミシンを展示しているが、そのミシンのメーカーを知りたい。「SEEKOH」という銘板が付いている。インターネットではわからない。

インターネット上での刻印画像から京都製と推察されたが、確認には至らなかった。『日本ミシン産業史』日本ミシン協会/編、日本ミシン協会、1961  
該当記事は確認できず。

2018/3/17

「同潤会の青山アパート」(特別展「希望を追いかけて」の展示写真参照)に写っている、建物前のけやき並木は、いつ頃なくなったのか。なくなった時期がわかるような写真や関連資料はないか。戦前は存在しており、戦後も26～27年頃は存在していた。

①『表参道が燃えた日』『表参道が燃えた日』編集委員会、2008 p.55  
②『続 表参道が燃えた日』『表参道が燃えた日』編集委員会、2011  
付録(「空襲前後の表参道のけやき並木」米軍撮影空中写真)  
③『明治神宮戦後復興の軌跡』今泉宜子/編、明治神宮社務所、2008

## 01\_11紙芝居 (3件)

### 質問

2017/7/11

大学の論文で、戦中戦後の紙芝居の目録を作成している。紙芝居のタイトルとその製作年がわかる資料はないか(一覧でわかるようなものがあればなお可)。

### 回答

キーワード：紙芝居

①『紙芝居と戦争』桜本富雄/著、マルジュ社、1985  
②『昭和の紙芝居』昭和館/編、昭和館、2012  
③『戦中戦後紙芝居集成』朝日新聞社、1995  
④『大紙芝居展』横浜市歴史博物館/編、横浜市歴史博物館、2010  
⑤『紙芝居がやって来た』群馬県立土屋文明記念文学館/編、群馬県立土屋文明記念文学館、2002  
⑥『紙芝居がやって来たII』群馬県立土屋文明記念文学館/編、群馬県立土屋文明記念文学館、2007

2017/9/24

【映画会社】  
紙芝居の実物を見ることはできないか。仕事でマンガ家の先生に複製を作ってもらおうことになっているが、紙質まで再現したいと考えている。

1950年代ぐらいの図書室所蔵の紙芝居資料をカラー複写したいとの希望があったため、下記3点のコピー資料ファイルを案内。

①『紙芝居 鐘の鳴る丘 東京編』鐘の鳴る丘刊行會/製作、鐘の鳴る丘刊行會、1948  
②『紙芝居 神兵と母』大日本画劇/製作、大日本画劇、1944  
③『紙芝居 この子を残して』日本教育画劇社/製作、日本教育画劇社、1950  
原本の閲覧は不可。

2017/10/13

昭和館が所蔵している紙芝居の原本を見ることはできないか。

原本の閲覧は不可。展示中の資料はケース越しにしか見られないため、6階常設展示室の検索端末の紙芝居データベースを案内。

昭和館が所蔵している紙芝居についての資料として『昭和の紙芝居』昭和館/編、昭和館、2012 と紙芝居ファイルを紹介。

## 02\_軍事 (28件)

### 質問

2017/4/2

陸軍の編制がわかる資料が見たい。以前は5階の端末等で見られたように思う。

### 回答

『帝国陸軍編制総覧1～3』外山操/著、芙蓉書房出版、1993  
また、図書室内の検索端末の「戦史叢書・陸海軍部隊略歴」データベースを案内。

2017/5/23

太平洋戦争中に沈没した艦船について調べている。艦船の沈没した位置（経緯）と戦没者数特定の地域、船ではなく全体がわかるもの。

- ①『第二次世界大戦艦船遺柱総覧』公益推進機構/編、公益推進機構、1984
- ②『戦時艦船喪失史』池川信次郎/著、元就出版社、2004
- ③『太平洋戦争沈没艦船位置精密図』（昭和館資料番号 000048558）  
その他、水交書庫（水交会）、防衛研究所などを紹介。

2017/5/23

赤紙は郵送されていたと思うが、当時の送料が知りたい。

- ①『赤紙』小沢真人/著、創元社、1997  
p. 24「赤紙は郵便で送られてくると戦後考えられてきた。赤紙は俗に『一銭五厘』と呼ばれた。この一銭五厘とは、当時のハガキの値段である。……しかし実際には、赤紙は兵事係など村の職員が、直接本人か不在の場合は家族に手渡しで交付した」との記述あり。
- ②『日本軍隊用語集』寺田近雄/著、立風書房、1992  
p. 26「赤紙」の項に「当時、郵便ハガキ代は一銭五厘であったため、ハガキで呼び出しがあったような通説もあるが、赤紙はあくまでも役場の兵事係の手によって本人や家族に受領印をもらう厳格なものであった」との記述あり。
- ③『昭和日本史 7』暁教育図書、1977  
p. 147「一銭五厘のいのち」に「召集令状は手紙やはがきで郵送されることは絶対になかった」との記述あり。

2017/5/29

昭和19年秋に東京の大森区に住んでいた人（個人）が陸軍に召集された場合、どの部隊に配属されたのかを知りたい。

『軍歴証明の見方・読み方・とり方』栗須章充/著、日本法令、2015  
召集令状は陸軍省作成の動員計画に基づいて、連隊区司令部で対象者を指定（名簿からランダムで選択）して発行され、それを警察官が市区町村役場に持参して、役場の兵事係吏員から応召者本人、または家族に直接手渡しで交付していた。受領証を兵事係吏員が役場で保管していたようなので、当時大森に住んでいれば、区役所または都庁に関連する資料がないか、問い合わせてみることを提案。

2017/6/8

アメリカでは、第一次世界大戦後、すべての基地に図書室を設置することを陸軍省が決めたようだが、日本でも第二次世界大戦中の陸軍の施設内に図書室のような施設はあったのか知りたい。

キーワード：陸軍 基地 図書室 図書館 本 娯楽 陸軍文庫  
アメリカのように戦場の兵士の慰問のため、基地に図書室や図書館を作ったり、国を挙げて図書を戦地に送ったという記述のある資料は見当たらず。  
日本での取り組みとしては、『兵士のアイドル』押田信子/著、旬報社、2016 に「慰問袋の中に慰問雑誌を入れて兵士に送った」という記述あり。

2017/7/4

【テレビ局】

厚生労働省で戦没者数の合計が310万人と聞いた。盧溝橋事件から80年を迎えたことを期に、テレビ番組で盧溝橋事件以降に戦没者が増加していったことを紹介したいと考えている。参考になる資料はないか。

キーワード：戦没者 戦死者 太平洋戦争 人的被害 推移 統計  
『日本陸海軍事典 コンパクト版 下』原剛/編、新人物往来社、2003  
巻末付表8「大東亜戦争における地域別兵員および死没者数」に軍属を対象とした昭和12.7.7～昭和20.8.14、昭和20.8.15～の死没者数掲載あり。  
『完結昭和統計年鑑 第3巻』、『昭和国家総覧 下巻』、『史料・太平洋戦争被害調査報告』等を調査するが、問い合わせ内容に合致するような資料はなし。

2017/7/8

佐倉連隊の写真が載っている本が見たい。

- ①『佐倉連隊にみる戦争の時代』国立歴史民俗博物館/編、国立歴史民俗博物館、2006
- ②『佐倉聯隊写真集』佐倉聯隊写真集編纂委員会/編、国書刊行会、1979

2017/7/8

陸軍習志野学校の写真が載っている本が見たい。靖国偕行文庫ならあるか。

『郷土部隊100選』加藤美希雄/著、秋田書店、1972  
に小さな写真が掲載、偕行文庫に問い合わせたところ、『陸軍習志野学校』があるが、写真記載の有無は直接来て確認してほしい、との回答があった。

2017/7/15

呉海軍航空隊について知りたい。  
通称：六三四。

キーワード：呉海軍航空隊 海軍航空隊 六三四  
①『波濤のしぶき』松本春雄/著、光和堂、1982  
②『第六三四海軍航空隊小史 第1集』（昭和館資料番号000013002）  
③『瑞雲飛翔』梶山瑞雲/著、梶山瑞雲、2002

2017/7/15

呉鎮守府について知りたい。

- ①『呉鎮守府復員沿革史』呉地方復員部/著、呉地方復員部、出版年不明
- ②『呉鎮守府例規』呉鎮守府、出版年不明
- ③『呉鎮守府沿革誌』呉鎮守府/編、あき書房、1980

2017/7/19

第三志願兵がどういうものなのか。

- ①『海軍志願兵』片柳忠男/編, 北原出版, 1944  
後半部分に「海軍志願兵徴募区表」が載っており、第一から第四までに分かれていることがわかる。鹿児島は第三の区域に入っている。海軍志願兵徴募区は、海軍区とは別に海軍志願兵徴募や召集事務等のために定められているとのこと。
- ②『海軍辞典』山内大蔵/著, 弘道館, 1942  
p. 45に海軍志願兵徴募区の項目あり。

2017/8/4

戦前の兵役制度について知りたい。

- ①『日本陸軍がよくわかる事典』太平洋戦争研究会/著, PHP研究所, 2008
- ②『近代日本軍隊教育史研究』遠藤芳信/著, 青木書店, 1994

2017/8/9

## 【新聞社】

「出征した父親に3年くらい経って戦死公報が届き、母親が取りに行き、白木の箱を持って帰って来た」という戦争の思い出を書いた投稿があったが、その内容について以下の点を確認したい。

1. 戦死公報はどのようにして家族に届けられるのか。遺骨の受け渡し方についても知りたい。
2. 「復員だより」というラジオ番組について。番組名は「復員だより」で正しいのか。

1. 戦死公報はどのようにして家族に届けられるのか
- ①『遺族、復員者、出征者家族の栞』栃木地方世話部/著, 栃木地方世話部, 1946  
p. 1「死亡公報」(栃木県の場合)
- ②『引揚者留守家族のための生活読本』東京都在外同胞帰還促進留守家族連盟, 1950  
p. 9「死亡公報」「遺骨の伝達」(東京都の場合)
- ③『赤紙』小沢真人/著, 創元社, 1997  
p. 91「6 死亡通知」(富山県の場合)  
役場の「世話部」「世話係」等の部課が担当。
2. 「復員だより」について
- ④『放送五十年史』日本放送協会/編, 日本放送出版協会, 1977 p. 226
- ⑤『ラジオ年鑑 昭和22年版(複製)』日本放送協会/編, 大空社, 1989 p. 53
- ⑥『ラジオ年鑑 昭和23年版』日本放送協会/編, 日本放送出版協会, 1948 p. 29
- ⑦『放送の五十年 昭和とともに』日本放送出版協会, 1977 p. 133 (当館所蔵はないが、千代田区立図書館で所蔵している)
- ・同時期に並行して、下記の番組が放送されていた。  
「復員だより」: 昭和21年(1946)1月～昭和22年(1947)2月  
「尋ね人」: 昭和21年(1946)7月1日～昭和37年(1962)3月  
「引揚者の時間」: 昭和22年(1947)7月～昭和32年(1957)3月  
NHK放送博物館4F「図書・史料ライブラリー」を案内。

2017/8/10

## 【遺族会】

昭和16年12月のマレー作戦の資料について、コタバルの上陸部隊(部隊名)を知りたい。

- キーワード: マレー上陸 部隊
- ①『マレー侵攻作戦 戦史叢書1』防衛庁防衛研修所戦史室/著, 朝雲新聞社, 1966  
p. 190
- ②『比島・マレー方面海軍進攻作戦 戦史叢書24』防衛庁防衛研修所戦史室/著, 朝雲新聞社, 1969 p. 395
- キーワード: コタバル上陸 部隊
- ③『マレー作戦』陸戦史研究普及会/編, 原書房, 1966 p. 59

2017/8/10

## 【新聞社】

錬成飛行隊について調べている。どのような位置づけの部隊だったか、また全国にどれだけの数の部隊があったか知りたい。  
福井県内の図書館に所蔵がある資料だとおおい。

- キーワード: 錬成飛行部隊 錬成飛行部隊 陸軍航空教育部隊
- ①『陸軍航空の鎮魂』航空碑奉賛会/編, 航空碑奉賛会, 1978  
p. 360「陸軍航空部隊の名称、通称号、所在地等一覧表」に錬成飛行隊の項目あり。
- ②『陸軍航空の鎮魂 続』航空碑奉賛会/編, 航空碑奉賛会, 1982  
p. 38「第一部 われらの舞台 第二章 戦時下の陸軍航空 四 航空教育部隊」に錬成航空隊の設立の経緯に関する記述あり。また「錬成航空隊数の変化」の表あり。  
福井県立図書館をはじめ、各図書館のHPから所蔵検索ができるので、ご自身で検索してもらおう案内。
- キーワード: 錬成飛行隊
- ③『マラン』マラン会/編, マラン会, 1980  
p. 3「第26錬成飛行隊のあゆみ」のように各部隊の詳細が調べられることを案内。

2017/8/11

鉄道連隊についての本はあるか。満州鉄道において鉄道連隊がどう関わったのか知りたい。

- キーワード: 鉄道 連隊 満鉄
- ①『燦たり鉄道兵の記録』吉原矩/編, 全鉄会本部, 1965
- ②『日本の装甲列車』藤田昌雄/著, 潮書房光人社, 2013
- ③『北斗星と共に』北斗会/編, 北斗会, 1996
- ④『鉄道兵の生い立ち』長谷川三郎/著, 三交社, 1984
- 満鉄との関わりについては不明だが、参考として鉄道連隊に関する写真集を案内。
- ⑤『写真に見る鉄道連隊』高木宏之/著, 光人社, 2011
- ⑥『日本陸軍鉄道連隊写真集』高木宏之/著, 潮書房光人社, 2015

2017/8/15

<p>日中戦争期、河南省を日本軍が占領した際の人々の状況がわかるような資料がないか。</p>	<p>キーワード：日中戦争 河南省 占領</p> <p>①『支那事变実記 第3輯』読売新聞社/編、支那事变実記発行所、1941</p> <p>②『大東亜戦争従軍記』樋口秀次郎/著、群馬出版センター、2000</p> <p>③『日本の中国侵略 中国側史料』森正孝ほか/編、明石書店、1991</p> <p>その他、日中戦争の概略がわかる資料として、以下の資料を案内。</p> <p>④『現代史資料 8～13』みすず書房、1964～1966</p>
<p>2017/8/15</p>	
<p>【新聞社】</p> <p>植民地平定時代の台湾に慰問袋があったのか（慰問袋の準備をしていた事実はあるのか）を調べている。日中戦争以後にあったことはわかっているのですが、以前からあったのかかわかる資料はないか。</p>	<p>①『愛国婦人会台湾本部沿革誌 上（復刻）』愛国婦人会台湾本部/編、ゆまに書房、2007 「第四章 蕃界討伐隊の慰問及び救済 二五年計画大討伐隊の慰問」p. 39に一番古い時代のものとして、明治時代に前進隊へ慰問袋を送った旨の記述あり。</p> <p>②『愛国婦人会台湾本部沿革誌 下（復刻）』愛国婦人会台湾本部/編、ゆまに書房、2007 をあわせて確認するよう案内。</p>
<p>2017/9/18</p>	
<p>身内がマイクロネシアのフララップ島で死亡したが、当時の状況がわかる資料はないか。厚労省で軍歴証明は取得しているが、陸軍の所属部隊等はわかっているが、何か情報がないか探している。軍歴証明は自宅に置いてきてしまったため、部隊等の記載内容は確認しないとわからない。</p>	<p>図書室内の検索端末「戦史叢書・陸海軍部隊略歴」を案内。</p> <p>昭和館以外に陸軍の資料を持っているところはないかとの質問には、防衛省図書室と防衛研究所を案内。</p>
<p>2017/10/11</p>	
<p>【映画会社】</p> <p>1944～45年の沖縄を舞台にした映画を制作している。ある人物に召集令状（陸軍）を渡すシーンを検討しているが、召集令状の渡され方について書かれた資料や参考になる資料はないか。</p> <p>特に知りたいのは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・召集令状はどのように本人に渡されたのか。</li> <li>・召集令状はどのような状態で渡されたのか（封筒に入っている等）。</li> </ul>	<p>①『赤紙』小沢真人/著、創元社、1997 p. 24</p> <p>②『赤紙と徴兵』吉田敏浩/著、彩流社、2011 p. 68</p> <p>③『村と戦争』黒田俊雄/編、桂書房、1990</p> <p>④『日本軍隊用語集』寺田近雄/著、立風書房、1992 p. 26</p> <p>⑤『銃後の風景』長岡健一郎/著、STEP、1992</p>
<p>2017/10/25</p>	
<p>自宅を整理していたら、下記の内容が書かれた紙が出てきた。</p> <p>記載内容「支那事变における功に至り軍八等 金90円を受け賜う 賞局局長兼至勲一等 大蔵大臣発行」</p> <p>インターネット検索をしたところ、下条康磨に関連して、金額は違うもののほぼ同じ内容のものがヒットしてきた。検索をしてみると、ほかにも類似のものがたくさん見つかり、「大日本帝国政府支那事变行賞」で大蔵大臣が発行していたものようだ。どういった場合にもらえるものなのかわからないため調べてほしい。</p>	<p>キーワード：支那事变行賞 賜金国庫債券</p> <p>「支那事变行賞」は賜金国庫債券で、支那事变に功績のあった人に対して交付された。債権の金額は15種類ほどあった。戦時中に発行された債権はすでに無効となっているため、換金はできず債権としての価値はないが、祖父の遺品ということでご家族の方にしか計れない価値があると思われる。市場価値については図書室では判断ができない。</p> <p>①『史料週報 第19巻 昭和16年6月（複製）』内閣印刷局/編、大空社、1987</p> <p>②財務省 <a href="http://www.mof.go.jp/faq/jgbs/04db.htm">http://www.mof.go.jp/faq/jgbs/04db.htm</a> 「戦前や戦中に発行された国債は払い戻してもらえますか」という質問に対する答の掲載あり。</p>
<p>2017/10/25</p>	
<p>【福岡県在住】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神武天皇宮に関連する資料。</li> <li>2. 進駐軍による芦屋飛行場（基地）の接収、昭和14年の陸軍による収用についての記録。</li> <li>3. 芦屋付近（あるいは遠賀郡）の空襲被害や接収の様子がわかる写真。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神武天皇宮（天皇社）関連として       <ol style="list-style-type: none"> <li>①『天皇宮』川面凡児/著、八紘會、1938</li> <li>②『神武天皇創業史』西山全太郎/著、博文館、1912</li> </ol> </li> <li>2. 土地の収用について       <ol style="list-style-type: none"> <li>③『国家総動員関係法令』警視庁保安部/編、罔佑社、1940 「土地工作物管理使用収用令（昭和十四年十二月二十八日勅令第九百二号）」 芦屋基地について言及されているものはなし。</li> </ol> </li> <li>3. 芦屋付近の空襲被害や接収の様子について       <ol style="list-style-type: none"> <li>④『目で見る北九州の100年』出口隆/監修、郷土出版社、2001</li> <li>⑤『北九州・戦時下の市民の暮らし』北九州市立歴史博物館、1995</li> <li>⑥『進駐軍が写したフクオカ戦後写真集』木村秀明/編、西図協出版、1983</li> <li>⑦『北九州市の宝もの』北九州市立自然史・歴史博物館、2013</li> </ol> </li> </ol>

	<p>⑧『写真集福岡100年』西日本新聞社「写真集福岡100年」刊行事務局/編, 西日本新聞社, 1985</p>
<p>2017/11/18</p>	
<p>【博物館】 台湾高砂族の志願兵の数が知りたい。</p>	<p>キーワード：高砂 義勇</p> <p>①『台湾人元志願兵と大東亜戦争』鄭春河/著, 展転社, 1998</p> <p>②『忠烈拔群・台湾高砂義勇兵の奮戦』土橋和典/編, 戦誌刊行会, 1994</p> <p>③『証言台湾高砂義勇隊』林えいだい/著, 草風館, 1998</p> <p>④『還ってきた台湾人日本兵』河崎真澄/著, 文藝春秋, 2003</p> <p>⑤『聞け！血涙の叫び』基佐江里/著, 旧日本軍人軍属遺族救助基金会支援委員会出版局, 1986</p> <p>p. 66「高砂義勇隊」のおおよその数を1800余名との記述あり。</p> <p>⑥「台湾原住民から見るアジア・太平洋戦争：高砂義勇隊の実態と歴史的位置」『現代中国研究 33』(2015、中国現代史研究会)に第1～7回高砂義勇隊の人数がまとめられており、注釈で3,843人との記載がある(国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能)。</p> <p>⑦『台湾の大和魂』林えいだい/著, 東方出版, 2000</p> <p>p. 9「日本軍の一員として戦場に駆り出された台湾人は277,183人である。厚労省の調査では、戦死者30,304人となっているが、実はそれ以上ではないかといわれている」との記述あり。</p> <p>⑧『徴兵制と近代日本』加藤陽子/著, 吉川弘文館, 1996</p> <p>p. 254「特別志願制度」の項に「高砂族のみの枠も、昭和一八年に五〇〇余名、昭和一九年に八〇〇名を採用している」とある。</p>
<p>2017/11/22</p>	
<p>【団体見学の小学生】 「インパール作戦」について知りたい。</p>	<p>インパール作戦のどのような点について調べたいかを確認したところ、特定のテーマはないとのこと。</p> <p>①『アジア・太平洋戦争』森武磨/監修, ポプラ社, 2006</p> <p>②『語りつごうアジア・太平洋戦争 8』和歌森太郎ほか/編, 岩崎書店, 1995</p> <p>③『子どもに伝える太平洋戦争史 4』和歌森太郎ほか/編, 岩崎書店, 1991</p> <p>④『「戦争と平和」子ども文学館 13』長崎源之助ほか/編, 日本図書センター, 1995</p> <p>当館図書室では、検索結果一覧のプリント出力が可能。市販の図書については最寄りの公共図書館でも利用できる場合が多いことを案内。</p>
<p>2018/1/16</p>	
<p>【博物館】 国防婦人会を管轄・指導していたのは陸軍省連隊区司令部とされているが、この根拠となる法令などを教えてほしい。</p>	<p>①『愛国・国防婦人運動資料集 5』日本図書センター, 1996</p> <p>p. 109「師管本部は…、地方本部は聯隊区司令官、…の直接監督指導を受く」</p> <p>p. 265に組織図あり。p. 291最終行「本会は…陸、海軍大臣の監督指導を受くるものとす」とあり。</p> <p>②『戦争を生きた女たち』翔谷美規子/著, ミネルヴァ書房, 1985</p> <p>p. 235に年表あり。「昭和7.10.24 国婦関東本部…陸海軍の監督指導」</p>
<p>2018/1/18</p>	
<p>【テレビ局】 教練検定合格証明書が発行されていても、戦地に行っていないことはあるのか。</p>	<p>キーワード：教練 証明書</p> <p>①『近代日本軍隊教育・生活マニュアル資料集成 昭和編第1巻』一ノ瀬俊也/編, 柏書房, 2010</p> <p>②『学生ト兵役』松浦徳一/著, 松浦徳一, 1933</p> <p>③『陸海軍軍事年鑑〔復刻〕5 (昭和16年版)』軍人会館/編, 日本図書センター, 1989</p> <p>学校教練検定規程摘要の項目あり。</p> <p>④『わだつみのこえ 第145号 (平成28年11月)』日本戦没学生記念会, 2016</p> <p>学校教練不合格証明書、軍事教練についてのノート。</p> <p>いずれも、証明書が発行されたら必ず戦地に行く、という内容の記述はない。</p>
<p>2018/1/30</p>	
<p>【出版社】 「目澤恭」という人物について</p> <p>1. インドネシアのスマトラ島でオランダ軍の裁判を受けたという情報があるがそれを裏付ける文献が見つからない。</p> <p>2. この人物についての記述が見つからない。</p> <p>3. 戦後、スマトラ島から復員したということが、新聞の引揚げ者一覧に掲載されたことですが、これも新聞データベースで見つけることができなかつた。</p>	<p>1. および 2. について</p> <p>キーワード：スマトラ 裁判 BC級戦犯 残留</p> <p>「目澤恭」氏についての情報なし。</p> <p>【調査済資料】</p> <p>①『蘭印法廷 1 (オランダ軍関係)』坂邦康/著, 東潮社, 1968</p> <p>②『BC級戦犯関係資料集 第5巻』田中宏巳/編, 緑蔭書房, 2012</p> <p>③『試煉のアルバム』児玉京一/編, 広島県人会, 1952</p> <p>3. について</p> <p>④『朝日新聞縮刷版 昭和27年8月』日本図書センター, 1994</p> <p>p. 107「スマトラから九名」スマトラからの引揚げ者9人帰国との記事あり。</p>

4. スマトラ島でオランダ軍によって裁かれた日本兵が収容されていた建物が、インドネシア人によって襲撃されたという事実があったか調べており、これに関する文献も知りたい。

5. スマトラ島も含めたインドネシア領で、独立運動に携わった日本兵が、その後インドネシア政府からどのような処遇を受けたのかについて知りたい。

4. について  
 キーワード：インドネシア 日本兵  
 ⑤『インドネシア独立戦争に参加した「帰らなかった日本兵」、一千名の声』Y.W.P福祉友の会, 2005  
 名簿に「目沢」という名前あり、復員年も合致する。詳細は月報の各号を見る必要があるが、館内には所蔵なし（インドネシア残留日本人会ヤヤサン）「月報」1号～200号は国立国会図書館に所蔵がある。  
 ⑥『帰らなかった日本兵』長洋弘/著, 朝日新聞社, 1994  
 ⑦『大東亜戦争とインドネシア—日本の軍政』加藤裕/著, 朱鳥社, 2002  
 ⑧『残留日本兵 アジアに生きた一万人の戦後』林英一/著, 中央公論新社, 2012  
 p. 129, p. 159  
 5. について  
 ⑨『皇軍兵士とインドネシア独立戦争』林英一/著, 吉川弘文館, 2011  
 ⑩『帰還しなかった日本兵』加藤均/著, 文理閣, 2006

2018/2/1

【図書館】  
 利用者の方からの問い合わせで  
 1. BC級戦犯（特にインドネシア）の関連の資料があるか。  
 2. 親族がBC級戦犯として裁判にかけられた。裁判資料等はすでに探して、何点か見ている。セレベス島での戦闘の様子が記載された資料はあるか。

1. について  
 ①『BC級戦犯関係資料集』田中宏巳/編, 緑蔭書房, 2011  
 ②『BC級戦犯裁判』林博史/著, 岩波書店, 2005  
 2. について  
 ③『セレベス戦記』奥村明/著, 図書出版社, 1974  
 ④『セレベス海軍戦記』湊邦三/著, 興亜日本社, 1944  
 ⑤『戦時下の記者たち』衣笠周司/著, 向陽書房, 1997

### 03\_書籍 (10件)

質 問	回 答
2017/6/14 墨塗りの教科書の実物はないか。また、墨塗りの教科書の写真が載っている資料はないか。 戦中・戦後の教科書を図書室で所蔵しているかどうか知りたい。	6階常設展示室に展示されていることを伝える。 墨塗りの教科書の写真が載っている資料に関しては ①『戦争と庶民 4』朝日新聞社, 1995 ②『図説教科書の歴史』海後宗臣/著, 日本図書センター, 1996 巻頭写真「すみぬり教科書」 ③『戦争とくらしの事典』戦争とくらしの事典編集部/編, ポプラ社, 2008 p. 90「墨ぬり教科書」 ④『ビジュアル版学校の歴史 4』岩本努/著, 汐文社, 2013 p. 20「教科書に墨をぬったことがあったってほんとう?」 ⑤『日本教科書大系』海後宗臣/編, 講談社, 1964 戦中・戦後の教科書に関しては、復刻版も含め図書室で所蔵しているが、教科ごとに分類して所蔵しているため、閲覧システムで必要な資料を検索してもらうか、カウンターで相談の上、書庫から出納する手続きが必要であることを案内。
2017/6/24 『中学生文学』という雑誌はないか。昭和24～25年頃に発行されていたもの。	国立国会図書館の蔵書から、昭和24年に日本読書会から発行されたことを確認。 館内限定閲覧のデジタルコレクションのため、国立国会図書館を案内した。
2017/7/1 常設展示室で展示されていた雑誌『相撲界』（昭和38年刊行）の表紙になっていた、相撲取りの名前が知りたい。	『大相撲 昭和38年3月号』読売新聞社, 1963 名前は豊山。
2017/7/8 『日本工兵学校写真集』（原書房）はあるか。	所蔵なし。 【調査済資料】 ①『陸軍工兵学校』工友会/編, 工友会事務局, 1977 ②『日本工兵写真集』日本工兵写真集編集委員会/編, 原書房, 1980
2017/7/28 昭和館は『働く婦人』を37号まで所蔵しているが、それ以降は刊行されていないのか。	『占領期女性雑誌事典 8』吉田健二/著, 金沢文圃閣, 2007 p. 16「1950/8/1発行の第37号が最終号」との記述あり。
2017/10/4 雑誌『太陽』は所蔵しているか。昭和51年に発行されたものを見たい。	9冊所蔵しているが、昭和51年発行のものはなし。国立国会図書館を案内。

2017/10/15

学研パブリッシングから出版されている『決定版 太平洋戦争 歴史群像シリーズ』が見たい。手元に7巻の『比島決戦』フィリピンをめぐる陸海空の死闘』(2010/6/1出版)を所蔵しており、そのほかの巻が見たい。

開架書架に1～10巻まで所蔵あり。昭和館の書誌データの出版社は「学習研究社」となっており、シリーズ名に「歴史群像シリーズ」と入力されていないが、7巻のタイトルが一致する。現物を確認すると、出版情報が一致、7巻の表紙デザインを確認するとこちらも一致したので、これを案内する。

2017/11/8

成規類聚(せいぎるいじゅう)という本はあるか。

9件該当。  
①『軍事秘密陸軍成規類聚』松本一郎/編、緑蔭書房、2010  
②『陸軍成規類聚 第1～6巻』陸軍省/編、川流堂小林又七、1943

2017/11/8

以前読んだ本を見たい。  
野砲兵第10聯隊(鉄5451)のうち、第1大隊3中隊(与那嶺真重隊)、第4大隊12中隊(竹原一正隊)がサラクサク峠での戦闘に参加した。復員した人の手記が掲載されている資料を以前に昭和館で読んだ(複数人の手記が掲載された、簡易な冊子)。

①『姫路野砲兵第十聯隊終焉記』野砲兵第十聯隊比島戦友会、1986  
②『比島参戦記 嗚呼サラクサク峠』竹内喜代二、1983  
は既読とのこと。野砲兵第十聯隊およびサラクサク峠の戦闘に関する手記を中心に検索。  
③『サラクサク峠』固武辰丙/編、サラクサク会、1979  
④『バレー峠』横山泰和/著、「バレー峠」刊行会、1989  
⑤『野砲兵第十聯隊戦没者追悼記念誌』野砲兵第十聯隊比島戦友会、1994  
⑥『草むす屍会会報 14・20・28・37』草むす屍会、1976～1999  
⑦『山ゆかば草むす屍』土谷直敏/編、日本遺族会、1968  
⑧『三十三年目の証言』村上兼巳/編、三十三年目の証言企画編集室、1978  
⑨『鉄部隊』葛野枯骨/編、丁子屋書店、1949  
⑩『ルソン島の野戦病院全滅記』西井弘之、1977  
⑪『軍人軍属短期在職者が語り継ぐ労苦 10』平和祈念事業特別基金、1999 p. 148「死闘の鉄(光延一徳)」

2018/8/28

過去10年以内に発行された雑誌『丸』(別冊やエクストラではなく、毎月発行されているもの)の中に、軍艦に欠陥があったというような内容の記事が収録されていないか調べてほしい。  
記事タイトルの中に「欠陥」ということばは確かに含まれていたと記憶している。

記事タイトルに「欠陥」を含む資料の該当は8件。  
平成に発行されたものの中で探している記事に近いものはあったが、希望する内容とは一致しなかった。8件すべて確認するが、一致する記事はなし。

## 04\_地図(5件)

### 質問

2017/5/18

終戦直後のアメリカ人向けの都内の地図はあるか。

### 回答

キーワード: GHQ 占領 地図  
『G.H.Q東京占領地図〔付録〕』福島鑄郎/著、雄松堂出版、1987

2017/6/14

【テレビ局】  
大久野島の地図がないか探している。本に載っている地図ではなく、できれば一枚図のもの。地図から消された島と呼ばれているが、実際に地図から消えているもの、地図に復活したものの両方を探している。

キーワード:「大久野島」で地図検索、該当の「竹原」を確認したが、大久野島の記載なし。「三津」国土地理院、1953(5万分の1地図)の右上には記載されていた。戦前の地図は見られなかったため、帝国書院、日本地図センター、国土地理院などを紹介。

2017/10/5

昭和30年頃の飯田橋の住宅地図が見たい。

『昭和三十年代東京散歩』人文社編集部/編、人文社、2004 はあるが、住宅地図ではない。千代田図書館を案内。

2018/2/11

大正末期から昭和初期の九段あたりの地図が見たい。

キーワード: 千代田区 地図 九段  
①『あの日の神田・神保町』佐藤洋一/著、武揚堂、2008  
②『東京の戦前 昔恋しい散歩地図』アイランズ/編、草思社、2004  
③『戦前昭和東京散歩』人文社編集部/編、人文社、2004  
地図を豊富に所蔵している都立図書館を紹介。

2018/2/24

終戦直後中国・天津で亡くなった弟（当時3歳）を弔いたいため、当時「北支那陸軍貨物廠」とされていた場所を特定できそうな天津の地図があれば見たい。

キーワード：天津  
①『海外引揚関係史料集成（国外篇）第32巻 中国本土編』加藤聖文/編，ゆまに書房，2002 地図等なし  
キーワード：北支那 貨物  
②『第四期生史 陸軍経理学校経理部士官候補生』第四期生会/著，日邦化工建設内第四期生会，1985  
p. 504「北支那野戦貨物廠」の簡単な地図が掲載。

## 05\_新聞（4件）

質問	回答
2017/5/3 朝日新聞は何年分まで所蔵しているか。	朝日新聞縮刷版（東京朝日新聞を含む）は大正10年1月（1921）から平成21年（2009）2月まで所蔵している
2017/5/3 山形や東北の戦前の新聞はあるか。	館内所蔵なし。河北新報の関連書はあり。 『河北新報に見る百年』河北新報創刊百周年記念事業委員会/編，河北新報社，1997
2017/12/7 岡山大空襲（昭和20年6月29日）のとき、B29が1機、貝殻山に墜落したことがあり、米兵を弔う墓標があるとのこと。昭和20年11月22日の山陽新聞には掲載記事があるが、朝日新聞等の全国紙にも掲載があるかどうか。	キーワード：B29 墜落 岡山 空襲 撃墜 搭乗員 朝日新聞紙面データベースと、読売新聞データベースで検索するが該当なし。 貝殻山へのB29墜落については『B-29墜落』日笠俊男/著，吉備人出版，2000 にまとめられている。
2018/1/11 【テレビ局】 昭和初期（戦中）の壁新聞をドラマの小道具として再現したいため、参考になる情報を探している。 具体的には、アジア進軍、真珠湾攻撃、日米開戦、戦況が悪化した時期の日本軍の奮闘、金属供出に関する壁新聞が良い。 下記の2点について調べてほしい。  1. 通常の新開と壁新聞の違いは何か。（発行のルールや定義など） 2. 昭和館以外に情報提供が可能な類似施設を紹介してほしい。	1. について 通常の新開や号外と壁新聞の違いについて、はっきりとした記述のある資料は難しい。 『常会 第4巻第9号（昭和17年9月）』中央教化団体連合会，1942 p. 20「壁新聞について（川本信正）」に「壁新聞は一口に言えば普通のポスターと新聞の中間をゆくものといつてよからう。……絵や写真に簡単な標語を入れたポスターでは訴える力が弱い。……在来のポスターにもう一段と力を出してみたい、これが日本で壁新聞を出すことに着手した翼賛宣伝部の第一の意図である」とある（著者は大政翼賛会宣伝部副部長）。 2. について 日本新聞博物館（収蔵資料検索で写真ニュースから一部閲覧可）、朝日・読売・毎日新聞社の資料室を紹介。また、『戦時下写真ニュース5・6 戦地編』（大阪府立図書館に所蔵あり）を紹介。 【調査済資料】 ①『戦前昭和の社会』井上寿一/著，講談社，2011 p. 200 ②『占領期のキーワード100』谷川建司/著，青弓社，2011 p. 57 ③『報道写真 第1巻第7号（昭和16年7月）』写真協会，1941 p. 91

## 06\_写真（9件）

質問	回答
2017/7/15 海軍の艦艇の写真集が見たい。	『写真日本海軍全艦艇史 上巻・下巻』福井静夫/著，ベストセラーズ，1994
2017/7/16 今年春に入室した際に見た写真集が見たい。 海軍軍艦の「勝力」について戦歴などが知りたい。	横長サイズで船がたくさん載っている写真集は ①『巡洋艦』呉市海事歴史科学館/編，ダイヤモンド社，2005 ②『記録写真集選21』「丸」編集部/編，光人社，1978 軍艦「勝力」の戦歴（概要）の記載あり。
2017/7/25 戦前の神田消防署（千代田区）の写真が載っている資料を探している。	『千代田区史 下巻』千代田区，1960 p. 1181「区内の消防署」に神田署の写真あり。ただし、資料が出版された昭和35年以前に撮影された写真であることは確かだが、はっきりした撮影年代は不明。 千代田区の郷土資料が収集されている千代田区の図書館への問い合わせを案内。

2017/8/4

1970年代半ばまで東京都世田谷区にあった映画館「経堂南風座」の外観写真が見たい。画面のすみ小さく映っている程度でも構わない。

経堂南風座では全資料でも該当なし。  
世田谷区の写真集、映画館の写真集を調べるが該当なし。  
経堂南風座は世田谷区経堂1丁目にあり、福昌寺の真向いということなので、福昌寺もキーワードとして調査した。  
質問者は世田谷郷土資料館、世田谷区関係の写真集、福昌寺等にも問合せ済とのこと。

2017/12/13

【マスコミ関係】  
昭和40年頃の駅のミルクスタンドの写真を探している。参考になる資料はないか。鉄道博物館に行ったが資料がなく、昭和館を紹介された。  
ミルクホールとミルクスタンドは別物のようだ。

キーワード：ミルクスタンド ミルクホール 駅 売店 キオスク  
『日本大百科全書22』小学館，1994  
「ミルクホール」の項に「ミルクホールの面影がミルクスタンドに残っている」とあり。映像資料「毎日ニュース第318号」がヒットしてくるが、写真を希望とのこと。来館者検索システムから検索するが、館蔵の写真集および写真資料の該当はなし。

2017/12/23

【中学生】  
太平洋戦争全体に関する本で、過激な写真が掲載されていない本を探している。

過激な写真が見られないということなので、児童書コーナーの図書を紹介。  
【その他の一般書】  
①『図解太平洋戦争がよくわかる』太平洋戦争研究会/著，日本文芸社，2009  
②『面白いほどよくわかる太平洋戦争』太平洋戦争研究会/著，日本文芸社，2000  
③『日米の教科書当時の新聞でくわえる太平洋戦争』出版企画開発室/編，辰巳出版，2015

2018/3/15

昭和20年8月10日の新潟市の空襲の写真はないか。雑誌『丸』で米軍が撮影した航空写真を連載していたこともあるので、そちらに掲載がないかも調べてほしい。

キーワード：新潟 空襲 米軍 写真 公文書館 →該当なし。  
【調査済資料】  
①『1945・昭和20年米軍に撮影された日本』日本地図センター，2015  
に新潟空襲の記述と図はあるが、8月10日ではなく、別の日のもの。  
②『戦場としての新潟』新潟市，1998  
新潟空襲の記述はあるが写真はなし。  
③『新潟県民の太平洋戦争』新潟日報事業社出版部，1985  
長岡空襲についての記述および写真のみ。  
雑誌『丸』の目次検索では該当なし。館蔵の所蔵写真、毎日フォトバンク  
[https://photobank.mainichi.co.jp/php/KK\\_search.php](https://photobank.mainichi.co.jp/php/KK_search.php)でも検索するが、該当なし。

2018/3/25

陸軍砲工学校の正面からの写真が見たい(正門が見たい)。

キーワード：砲工学校 陸軍 学校 軍  
写真掲載資料の該当なし。陸軍学校が掲載されている写真集を調査。  
『日本陸海軍写真帖』史伝編纂所，1903  
正面からの写真掲載あり。

2018/3/31

大阪の通天閣について。戦前にあった初代の展望台の外観がわかるような資料はあるか。

『吉本八十年の歩み』吉本興業，1992  
大阪府立中之島図書館、大阪歴史博物館（「大大阪」時代の展示がある）、吉本興業への問い合わせを案内。

## 07\_カメラ (1件)

質 問	回 答
2017/4/16 昭和館所蔵の雑誌『旅とカメラ』と、昭和10年代に刊行された雑誌等の資料を多く所蔵している施設を探している。ただし、国立国会図書館、神奈川県近代文学館、松江市立図書館、東京都写真美術館図書室、愛知東邦大学に関しては確認済なので、それ以外の施設について教えてもらいたい。	キーワード：専門図書館 旅 カメラ 昭和10年代 文献 雑誌 昭和館所蔵の『旅とカメラ 第2巻第8号(昭和13年8月)』日本旅行會，1938 は閲覧済。 『旅とカメラ』に関して、東京都立図書館、大宅壮一文庫、JCIライブラリー(カメラの専門図書館)各HP上で検索を行うが、いずれも所蔵なし。 NDLリサーチナビの「戦前期雑誌の所蔵機関」を参照するが、該当施設はなし。 戦前(昭和10年代)に刊行された雑誌等を比較的多く所蔵していそうな施設として、「東京大学附属 近代法政史料センター(本郷キャンパス内)」と「東京マガジンバンク(都立多摩図書館内)」、雑誌『旅とカメラ』に関連してJCIライブラリー(カメラの専門図書館)を紹介。

## 08\_レコード (1件)

質問	回答
2017/4/29 昭和18年1月にアメリカとイギリスの音楽を取り締まるために公表された「米英音楽作品蓄音機レコード」の詳細な全貌、特にそれぞれの原題とアーティスト名について。この「米英音楽作品蓄音機レコード」に載っているレコードの原題とアーティスト名の英文表記がすべて掲載されている書籍や論文・紀要などは、リストの発表から74年経った今日に至るまで果たして出版されているか。	キーワード:「米英 音楽 レコード」「敵性 音楽 レコード」→情報は得られず。 【調査済資料】 ①『昭和の戦時歌謡物語』塩澤実信/著, 展望社, 2012 ②『日本流行歌史 中』古茂田信男ほか/編, 社会思想社, 1995 国立国会図書館の過去のレファレンス事例の中に敵性音楽に関する事例があった。 「1941年～45年の太平洋戦争中の、音楽に関する統制について知りたい」(埼玉県立久喜図書館) <a href="http://iss.ndl.go.jp/books/R000000006-I000162041-00">http://iss.ndl.go.jp/books/R000000006-I000162041-00</a> 他館施設では民音音楽博物館、東京文化会館の音楽資料室を紹介。

## 09\_天皇 (4件)

質問	回答
2017/4/5 平成天皇に関する資料が見たい。	キーワード: 明仁 天皇 ①『明仁天皇と裕仁天皇』保阪正康/著, 講談社, 2009 ②『象徴』皇室史料編纂会/編, 全日本ジャーナリスト協会, 1981 ③『皇太子御外遊』朝日新聞社, 1953 ④『若竹のごとく』高杉善治/著, 読売新聞社, 1968
2017/7/16 昭和天皇が空襲を受けた地域を昭和20年3月18日午前9時から視察された件について、ネット上にそのルートは、呉服橋→永代橋→深川八幡→汐見橋→東陽公園→錦糸町であり、小名木川橋付近では車を降りて徒歩で視察されたという記載があった。 どの道を通って視察されたのか、どこを歩いたのか具体的なルート(深川八幡の境内のどこか)を詳しく知りたい。	①『昭和天皇実録 第九巻』宮内庁/編, 東京書籍, 2016 ②『天皇裕仁と東京大空襲』松浦総三/著, 大月書店, 1994 ③『朝日新聞縮刷版 昭和20年上半年期』日本図書センター, 1987 昭和20年3月18日に昭和天皇の巡幸があったことと、ルートに関する記載あり。 富岡八幡宮HP社報「昭和天皇の東京大空襲被災地御巡幸」に記述と写真あり。 <a href="http://www.tomiokahachimangu.or.jp/shahou/h2404/htmls/p05.html">http://www.tomiokahachimangu.or.jp/shahou/h2404/htmls/p05.html</a> 昭和館検索システムに石川光陽が撮影した「天皇の視察 (1)～(10)」があり、天皇行幸時の富岡八幡宮境内の様子を映した写真資料あり(館内閲覧のみ)。
2017/7/27 【自治体】 昭和16年12月8日の開戦の詔書の口語訳が出ている本はないか。	『別冊正論 第24号(平成27年7月)』産経新聞社, 2015 開戦の詔書(口語訳付き)の掲載あり。
2017/9/13 昭和館常設展示室7階と6階の間の階段踊り場に展示されている「終戦の詔勅」の現代語訳が載っている資料が見たい。とても良い訳だと思ったので、出典となっている資料がよい。	『昭和史の天皇30』読売新聞社, 1976 p. 332 「現代語訳」

## 10\_人物 (7件)

質問	回答
2017/4/22 雑誌『VAN』を編集した伊藤逸平の経歴を知りたい。 また、島田謹二が関係していると思われる『PAC』という雑誌を探している。外部の図書館も含めて、探し方を教えてほしい。	①『講談社日本人名大辞典』講談社, 2001 p. 190 ②『日本新聞漫画史』伊藤逸平/著, 造形社, 1980 『PAC』はおそらく『バック: 実用米語』(東西出版社)で、国立国会図書館にマイクロ・デジタル資料あり。
2017/8/9 横須賀鎮守府第五特別陸戦隊の戦歴、高橋達之介大尉について調べている。	横須賀鎮守府第五特別陸戦隊については海軍部隊略歴を確認。 戦史叢書検索「人名: 高橋達之介」を検索したところ1件該当。(49巻) キーワード:「人名: 高橋」「地名: 横須賀」すべて含む検索をしたところ12件該当(14、28、37、39、46、91巻)、それらを案内。

	<p>①『横五特』山本清/編, 戦誌刊行会, 1985 をあわせて紹介。                  キーワード: 横須賀鎮守府第五特別陸戦隊 → 2件該当。                  ②『部隊編制表 (昭和17年陸戦隊編制表) (昭和館資料番号 000042244)』                  名簿が掲載されているが、「高橋達之介」は見当たらなかった。</p>
<p>2017/9/6                  昭和7年頃の杉並区杉並町阿佐ヶ谷331番地に軍隊の寮か満州鉄道関係の建物または国の施設があったかわかる資料はないか。陸軍大佐 稲田巳喜蔵 (イナダミキゾウ) について調べているが、稲田は昭和7年6月に満州から帰国後、上記の番地に住んでいたらしいとの情報があった。個人宅ではなく、軍の寮に住んでいた可能性もあると考えており調べている。</p>	<p>『杉並区史』『帝都地形図』『東京都区分地図』『杉並区史探訪等』を調べるが、特定できるような記述なし。                  東京都立図書館に戦前の火災保険地図の所蔵があることを案内。</p>
<p>2017/9/8                  【博物館】                  日露戦争で活躍した秋山真之に関連して、日本海海戦に関わる公文書が載っている旧海軍資料を探している。また、日本海海戦に関わるもの以外に、当時、海軍の中で交わされていた公文書が収録されている資料はないか。                  秋山真之に関する自伝は所蔵があるので不要。                  アジア歴史資料センターは調査済。昭和館で所蔵している資料の中に該当するものがないか調べてほしい。</p>	<p>キーワード: 日露戦争 明治 海軍 文書 史料調査会                  公文書の定義にもよるが、昭和館で所蔵している海軍の日露戦争の公文書にあたると思われるものとしては、                  ①『日露戦争陸海軍公報集』新橋堂書店, 1905                  「第壹篇 日本海軍公報」中に日付順に海軍の公報が収録されており、「第四卷 自明治三十八年一月初至五月末」p. 2-35に日本海海戦に関する公報が収録されている (国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可)。                  依頼のあった日本海海戦に関する公文書が収録されている資料や、日露戦争に関して海軍が何等かの取り決めを交わしたという内容の公文書が収録されている資料は見当たらず。                  ②『日露戦役詔勅』海軍教育本部, 1906                  陸海軍関係文書については「防衛省防衛研究所 陸海軍文書について」  <a href="http://www.nids.mod.go.jp/publication/senshi/pdf/200003/12.pdf">http://www.nids.mod.go.jp/publication/senshi/pdf/200003/12.pdf</a></p>
<p>2017/10/11                  【テレビ局】                  ある人物が満州鉄道で働いていたという証言があるが、それが本当か調べる手立てはないか。満鉄の社員名簿や、満鉄で働いていた人の記録のようなものがないか。</p>	<p>国立国会図書館憲政資料室が、昭和20年8月現在の満鉄社員名簿 (マイクロフィルム) を所蔵しており、同室を紹介。</p>
<p>2018/2/10                  小畑実が歌っていた次の2曲の歌詞が知りたい。                  1. 「お蔭」                  佐伯孝夫作詞、昭和30年発売                  2. 「窓辺のギター」                  吉川静夫作詞、昭和31年発売                  音源は持っているが不明瞭で歌詞が聞き取れない。</p>	<p>①『クルーナー 小畑実伝』飯島哲夫/著, ワイズ出版, 2014                  p. 152 2曲とも発売年・タイトル・作詞作曲者のみの掲載。                  ②『昭和歌謡100名曲』塩澤実信/著, ブレーン, 2012                  ③『日本流行歌史 中』古茂田信男ほか/編, 社会思想社, 1995                  ④『日本の流行歌史大系歌詞総録 ビクター編』ダイセル化学工業, 1990</p>
<p>2017/11/18                  【テレビ局】                  カルピス・ライオン・キッコーマンのCMに出演していた、「明日待子」のポスターを昭和館で所蔵しているか。</p>	<p>①特別企画展図録『ポスターに見る戦中・戦後』昭和館, 2011                  ②特別企画展図録『ポスターに描かれた昭和』昭和館, 2017                  →上記資料の内容を確認するか該当なし。                  6階常設展示室の所蔵資料検索データベースでポスター1,800点を商品名や会社名のキーワードから検索可能。</p>

11\_交通 (1件)

質問	回答
<p>2017/月日不明                  1960年代に登場した自転車に原動機が着いたバイク (通称ばたばた) に当時ナンバープレートが付いていたかを知りたい。</p>	<p>該当の内容が判明する図書の所蔵なし。道路交通法に関する内容のため、警視庁の警察博物館に問い合わせることを案内。</p>

## 12\_動物 (1件)

質問	回答
2017/4/29 群馬サファリパークについての本が見たい。	キーワード：サファリパーク 群馬サファリパークは昭和54年（1979）開園のため、昭和館の収集対象年代から外れている。昭和全体をとりあげている本に少し記述があるか、もしくは群馬の写真集に写真が載っている可能性があることを案内。 『群馬の昭和』石原証明/監修、あかぎ出版、2004

## 13\_その他 (4件)

質問	回答
2017/6/11 『アサヒグラフ』昭和25年3月～9月の所蔵があり、コピーが可能な図書館はあるか（昭和館所蔵資料は複写不可）。	『アサヒグラフ』は、都立中央図書館と中野区立中央図書館に所蔵あり。
2017/6/15 【博物館】 企画展で使用したいため、昭和館で所蔵している戦中・戦後のポスターが見たい。デジタルデータで公開閲覧は可能か。	実物については、常設展示室をご案内。図書室の資料として昭和館刊行物『ポスターに見る戦中・戦後』『ポスターに描かれた昭和』を提供。6階常設展示室の所蔵資料検索データベースでポスター1,800点を商品名や会社名のキーワードから検索可能。
2017/6/23 大阪府堺市の潮湯や大浜公園について調べている。参考になる資料はないか。	キーワード：堺市 潮湯 大浜 ①『堺市今昔写真帖』山中永之佑/監修、郷土出版社、2006 ②『堺市史 続編 第2巻』堺市、1971 ③『写真集明治大正昭和洲本』新見貫次/編、国書刊行会、1979
2017/8/30 ブラジルにおける、終戦直後の日系人たちの様子がわかる資料はないか。	キーワード：日系人 ブラジル ①『日本人移民 2』藤崎康夫/編、日本図書センター、1997 ②『紀元二千六百年』ケネス・ルオフ/著、朝日新聞出版、2010 日系人社会の動きを詳しく知りたいとのことで、JICA横浜海外移住資料館を案内。

### 著者プロフィール

新城 敦（しんじょう・あつし）昭和47年東京生まれ。

東京工芸大学写真学科卒業。現在、昭和館図書情報部図書情報課図書係長。